

新潟県建築国民健康保険組合 データヘルス計画

平成30年3月
新潟県建築国民健康保険組合

第1章	計画策定について	
	1. 背景	3
	2. 基本方針	4
	3. データヘルス計画の位置づけ	5
	4. 計画期間	5
第2章	現状と課題把握	
	1. 保険者の特性把握	6
	(1) 基本情報	6
	2. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	8
	(1) 特定健康診査	8
	(2) 特定保健指導	9
	3. 医療情報分析結果	10
	(1) 基礎統計	10
	(2) 高額レセプトの件数及び医療費	11
	① 高額レセプトの件数及び割合	11
	② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	12
	(3) 疾病別医療費	13
	① 大分類による疾病別医療費統計	13
	② 中分類による疾病別医療費統計	19
	3. 保健事業実施に係る分析結果	22
	(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	22
	(2) 特定健康診査に係る分析	23
	(3) 特定保健指導に係る分析	27
	(4) 健診異常値放置者に係る分析	29
	(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析	31
	(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	33
	(7) 受診行動適正化に係る分析	37
	(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	40
	(9) 薬剤併用禁忌に係る分析	43
	(10) 服薬情報に係る分析	45
	4. 分析結果に基づく健康課題の把握	47
	(1) 分析結果	47
	(2) 分析結果に基づく課題とその対策	49
第3章	保健事業実施計画	
	1. 各事業の目的と概要一覧	51
	2. 全体スケジュール	53
	3. 各事業の実施内容と評価方法	54
	(1) 特定健診受診率向上対策	54
	(2) 特定保健指導	55
	(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業	56
	(4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	58

	(5) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	60
	(6) 糖尿病性腎症重症化予防事業	61
第4章	その他	
	1. データヘルス計画の見直し	62
	(1) 評価	62
	(2) 評価時期	62
	2. 計画の公表・周知	62
	3. 事業運営上の留意事項	62
	4. 個人情報の保護	62
年度別	特定健康診査結果分析	
	1. 有所見者割合	
	2. 質問別回答状況	
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表	

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月4日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて本データヘルス計画を策定し、加入者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

※傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

※レセプト分析システムおよび分析方法
(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

2. 基本方針

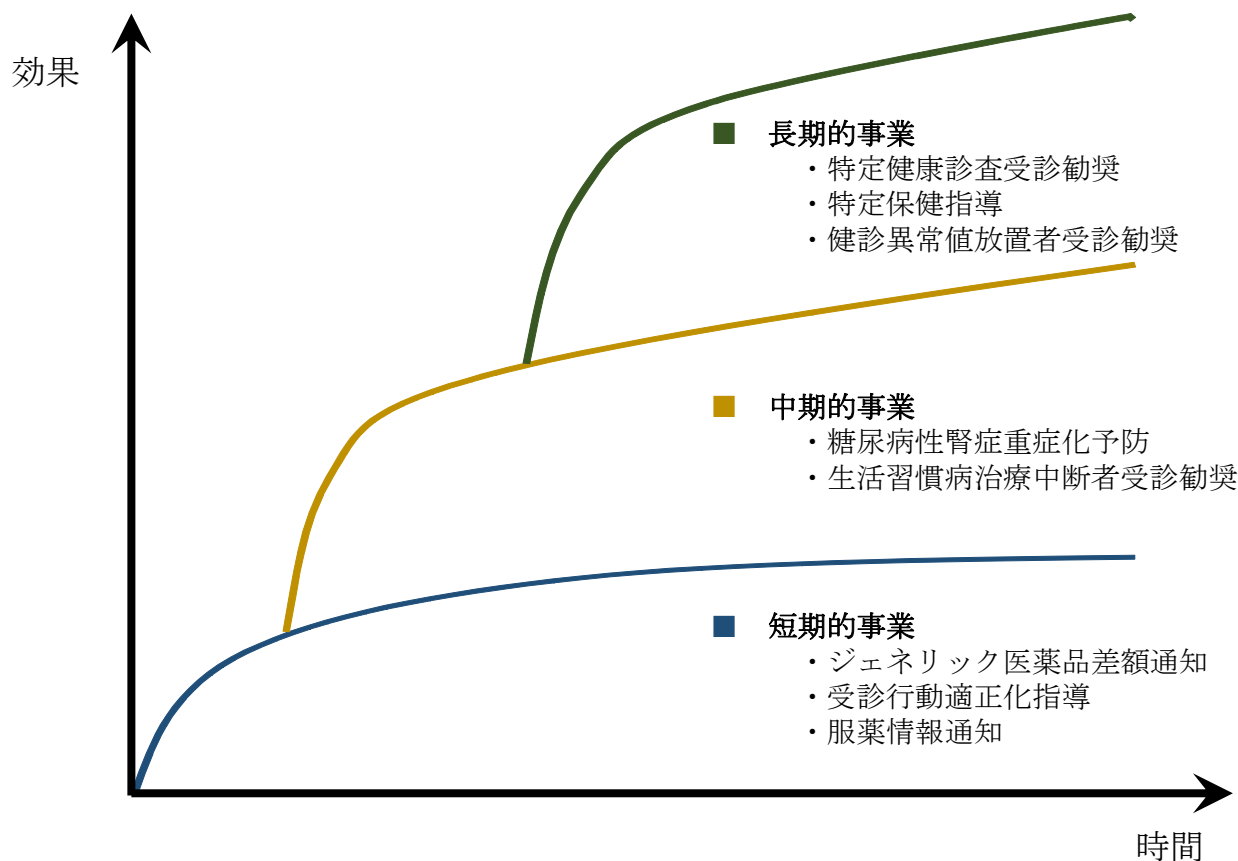
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を新潟県建築国民健康保険組合の実情に合わせて、効率良く実施する。



3. データヘルス計画の位置づけ

データヘルス計画とは、PDCAサイクルに沿った効率的かつ効果的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画である。計画の策定及び評価に当たっては、健康診査・レセプト等のデータを活用する。

4. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、特定健康診査等実施計画との整合性を踏まえ、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度までの6年間とする。単年で評価、また3年毎に中間評価を行う。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース (KDB) システムデータ
平成26年度～平成28年度 (3年分)
- ・ 入院 (DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分 (12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分 (12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分 (12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分 (12カ月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分 (12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分 (12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分 (12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分 (12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本組合の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。国民健康保険加入者数は18,876人で、国民健康保険加入者平均年齢は42.5歳である。

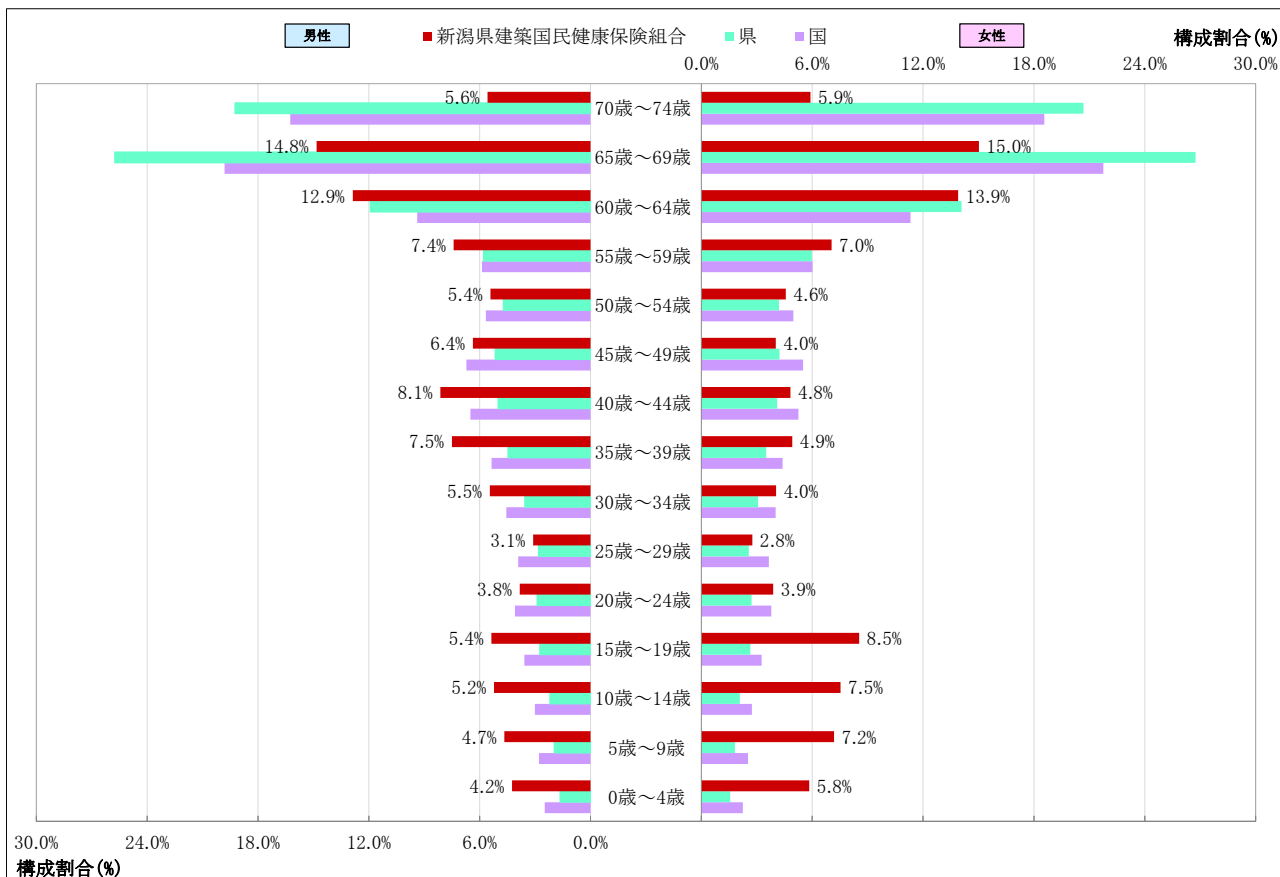
人口構成概要(平成28年度)

	国保加入者数 (人)	国保加入者 平均年齢(歳)
新潟県建築 国民健康保険組合	18,876	42.5
県	534,571	54.7
同規模	17,347	39.2
国	32,587,223	50.7

※「県」は新潟県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 加入者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

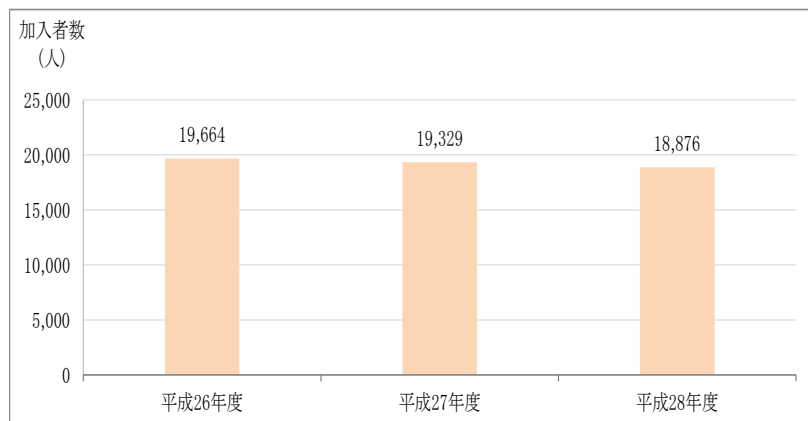
本組合の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険加入者数18,876人は平成26年度19,664人より788人減少しており、国民健康保険加入者平均年齢42.5歳は平成26年度42.5歳からほぼ横ばいである。

年度別 人口構成概要

区分		国保加入者数 (人)	国保加入者 平均年齢(歳)
新潟県建築 国民健康 保険組合	平成26 年度	19,664	42.5
	平成27 年度	19,329	42.5
	平成28 年度	18,876	42.5
県	平成26 年度	580,707	53.6
	平成27 年度	561,116	54.2
	平成28 年度	534,571	54.7
同規模	平成26 年度	14,352	39.7
	平成27 年度	17,791	39.1
	平成28 年度	17,347	39.2
国	平成26 年度	32,318,324	50.3
	平成27 年度	33,767,446	50.4
	平成28 年度	32,587,223	50.7

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 加入者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

2. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

(1) 特定健康診査

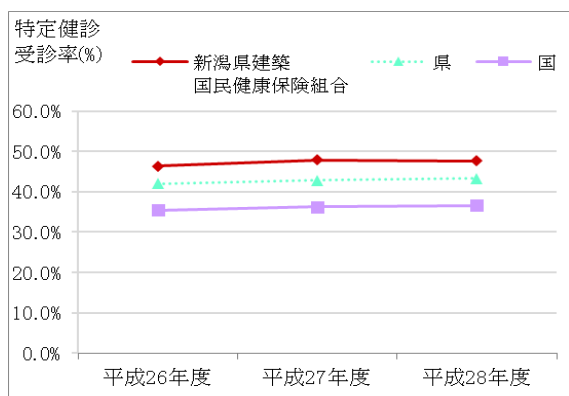
本組合の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率47.6%は平成26年度46.4%より1.2ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
新潟県建築 国民健康保険組合	46.4%	47.9%	47.6%
県	42.0%	42.9%	43.3%
国	35.4%	36.3%	36.6%

出典:法定報告

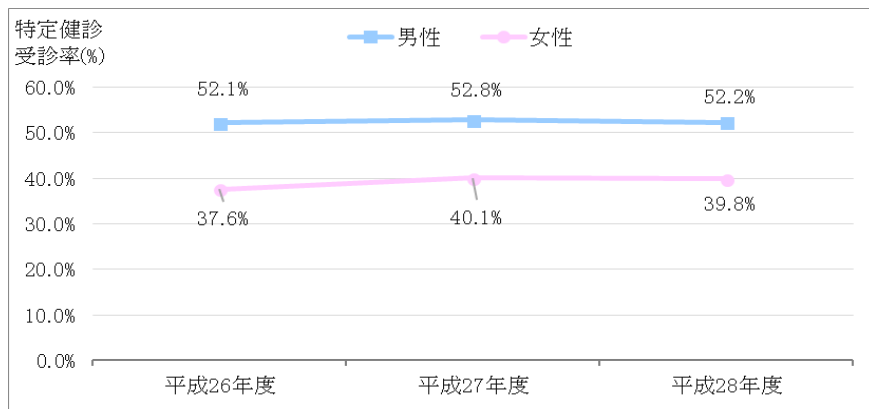
年度別 特定健康診査受診率



出典:法定報告

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率52.2%は平成26年度52.1%より0.1ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率39.8%は平成26年度37.6%より2.2ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:法定報告

(2) 特定保健指導

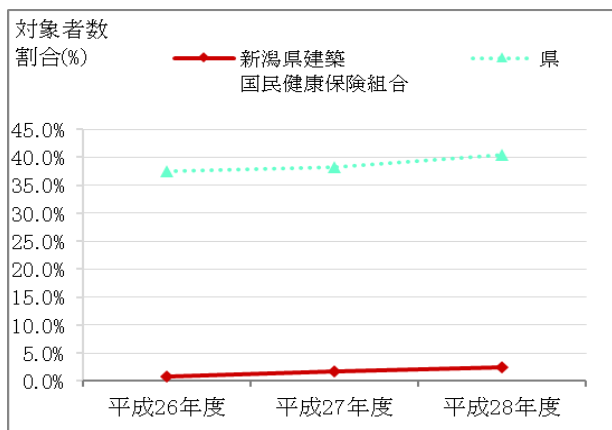
本組合の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率2.9%は平成26年度1.5%より1.4ポイント増加している。

年度別 特定保健指導実施状況

		動機付け支援			積極的支援			特定保健指導全体		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
新潟県建築 国民健康保険組合	実施率	0.8%	1.8%	2.4%	2.0%	1.8%	3.4%	1.4%	1.8%	2.9%
	実施人数	3	7	9	7	7	12	10	14	21
県	実施率	37.5%	38.3%	40.4%	22.3%	21.2%	23.8%	33.4%	33.8%	36.2%
	実施人数	5,026	5,228	5,514	1,109	1,048	1,100	6,135	6,276	6,614

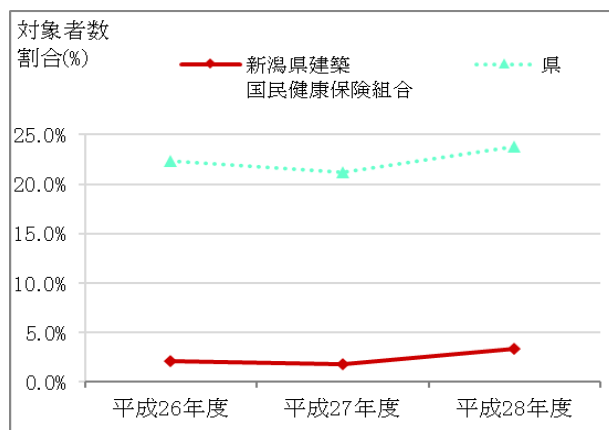
出典：法定報告

年度別 動機付け支援対象者数割合



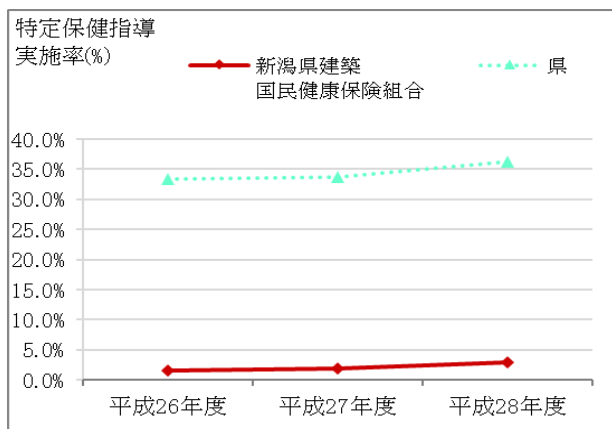
出典：法定報告

年度別 積極的支援対象者数割合



出典：法定報告

年度別 特定保健指導実施率



出典：法定報告

3. 医療情報分析結果

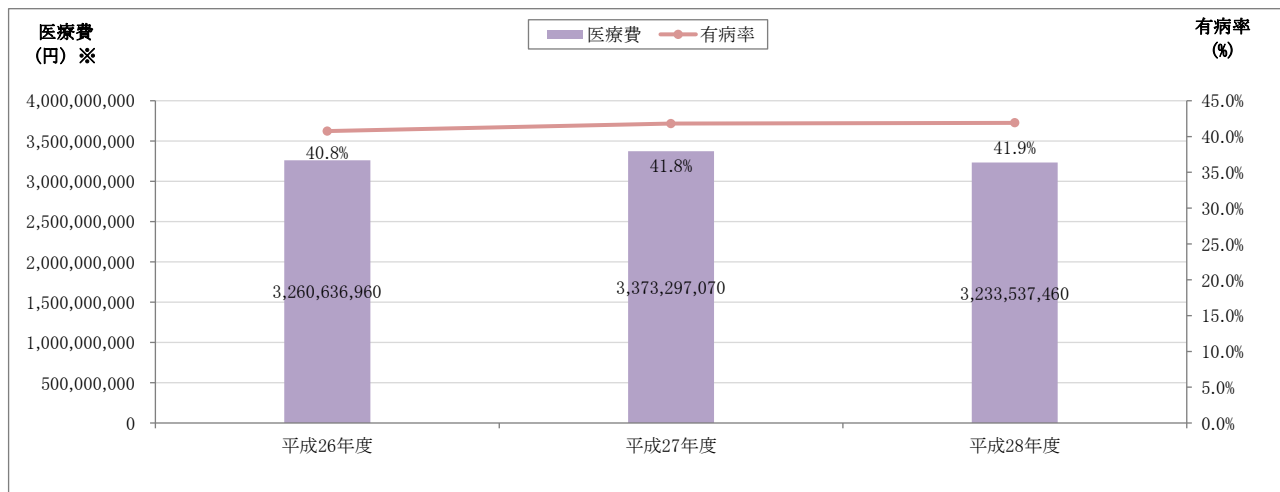
(1) 基礎統計

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の加入者数18,956人は、平成26年度19,582人より626人減少しており、医療費32億3,354万円は平成26年度32億6,064万円より2,710万円減少している。また、一カ月平均の患者数7,946人は、平成26年度7,981人より35人減少している

年度別 基礎統計

			平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	一カ月平均の加入者数(人)		19,582	19,281	18,956
B	レセプト件数(件)	入院外	122,519	124,974	123,093
		入院	2,234	2,252	2,139
		調剤	82,804	84,187	83,417
		合計	207,557	211,413	208,649
C	医療費(円) ※		3,260,636,960	3,373,297,070	3,233,537,460
D	一カ月平均の患者数(人) ※		7,981	8,061	7,946
C/A	加入者一人当たりの医療費(円)		166,516	174,954	170,580
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		15,710	15,956	15,497
D/A	有病率(%)		40.8%	41.8%	41.9%

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成26年度から平成28年度(36ヶ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、集計結果を年度別に示す。

平成28年度高額レセプト件数764件は平成26年度768件より4件減少し、平成28年度高額レセプトの医療費7億6,869万円は平成26年度7億5,340万円より1,529万円増加している。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	207,557	211,413	208,649
B	高額レセプト件数(件)	768	818	764
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.4%	0.4%	0.4%
C	医療費(円) ※	3,260,636,960	3,373,297,070	3,233,537,460
D	高額レセプトの医療費(円) ※	753,397,360	811,913,000	768,694,170
E	その他レセプトの医療費(円) ※	2,507,239,600	2,561,384,070	2,464,843,290
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	23.1%	24.1%	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

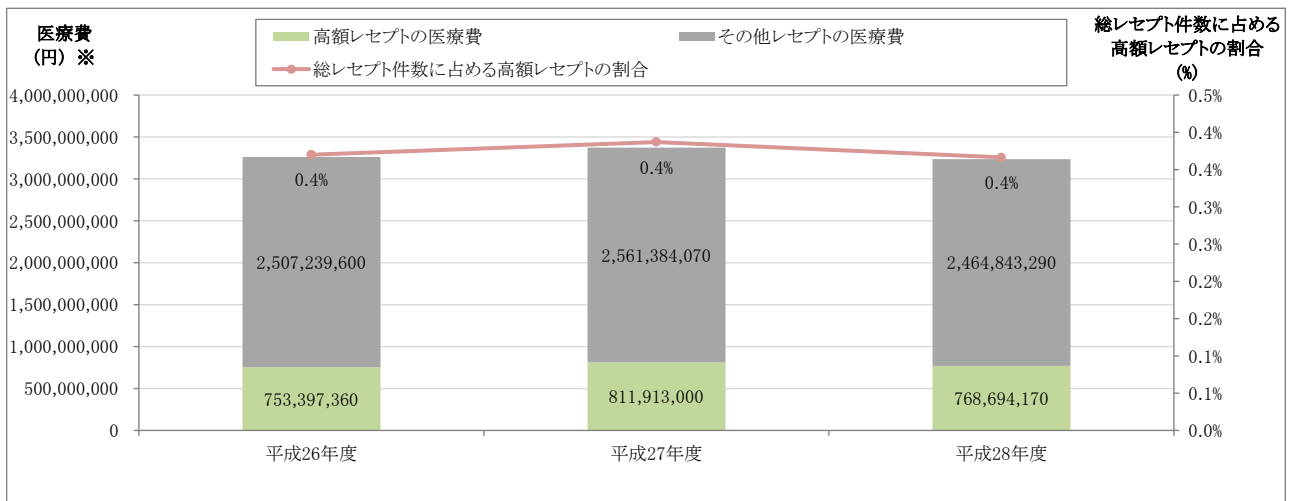
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 頸部食道癌	43	2,392,912
	2	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 胸椎黄色靱帯骨化症	24	1,942,558
	3	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 前十字靱帯損傷, 頸髄損傷	22	1,820,322
	4	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	壁内子宮平滑筋腫, 子宮頸部上皮内癌, 非機能性下垂体腺腫	21	1,438,430
	4	1113 その他の消化器系の疾患	兎径ヘルニア, クロウン病, 癒着性イレウス	21	1,753,820
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 中部食道癌, 多発性骨髄腫	41	3,692,010
	2	1901 骨折	腰椎圧迫骨折, 膝蓋骨骨折, 橈骨遠位端骨折	23	1,838,762
	3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 肺癌, 下葉小細胞肺癌	18	3,995,629
	4	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌, 盲腸癌	17	2,431,306
	5	1304 椎間板障害	腰椎椎間板ヘルニア	16	1,689,646
	5	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	既往帝王切後妊娠, 切迫早産, 妊娠中の深在静脈血栓症	16	1,291,321
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 甲状腺癌	41	3,216,272
	2	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	既往帝王切後妊娠, 切迫早産, 双胎妊娠	21	1,085,426
	3	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 幽門前庭部癌, 噴門癌	19	2,426,628
	3	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 卵巣のう腫, 卵巣腫瘍	19	1,055,528
	3	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 眼窩底骨折, 踵骨骨折	19	1,609,582

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した延べ人数。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

㊦3年度全てその他の悪性新生物<腫瘍>が1位であった。

また、建築という職種の影響もあり、骨折等の外傷が多い傾向にあった。

次に疾病毎の医療費をより詳細に示していく。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

【新潟県建築国民健康保険組合全体】

平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数、患者一人当たりの医療費を算出した。平成28年度は「新生物<腫瘍>」が医療費合計の15.6%、「循環器系の疾患」は医療費合計の14.6%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目(大分類)	医療費総計 ※					
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		順位		順位		順位
I. 感染症及び寄生虫症	84,707,230	13	106,004,300	12	87,670,619	13
II. 新生物<腫瘍>	480,244,011	2	516,786,681	1	502,074,493	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	22,011,460	17	25,518,016	16	18,789,644	18
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	299,680,174	5	317,087,192	5	297,381,076	5
V. 精神及び行動の障害	120,123,636	10	137,753,342	9	133,889,993	9
VI. 神経系の疾患	118,881,102	11	132,839,920	10	146,815,072	8
VII. 眼及び付属器の疾患	126,772,535	9	131,108,316	11	128,518,007	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	30,812,673	15	25,393,540	17	24,029,649	17
IX. 循環器系の疾患	495,441,439	1	483,272,556	2	470,199,009	2
X. 呼吸器系の疾患	343,569,668	3	351,366,210	3	330,551,644	3
X I. 消化器系の疾患 ※	256,213,536	6	252,997,262	6	246,824,488	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	95,659,317	12	102,952,477	13	93,001,146	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	313,359,670	4	336,147,842	4	307,730,130	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	203,740,939	7	197,323,714	7	190,980,344	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	29,254,662	16	26,496,464	15	32,518,846	15
X VI. 周産期に発生した病態 ※	16,649,112	18	8,902,728	19	24,873,937	16
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	10,129,329	19	8,827,462	20	10,583,735	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	50,500,286	14	50,626,338	14	48,783,054	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	134,840,944	8	139,774,193	8	118,444,680	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,938,002	20	9,860,411	18	8,544,245	20
X X II. 特殊目的用コード	0		0		0	
分類外	2,280,145	21	2,505,496	21	2,198,009	21
合計	3,242,809,870		3,363,544,460		3,224,401,820	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

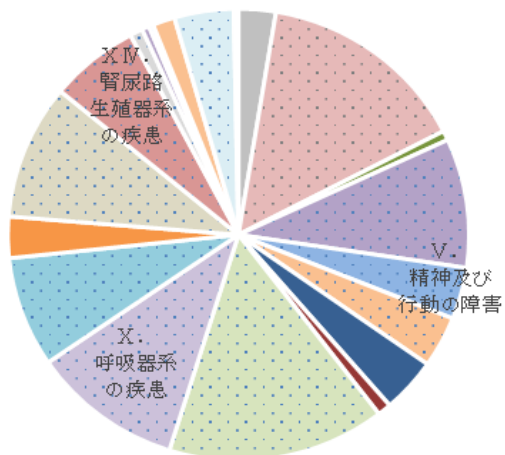
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

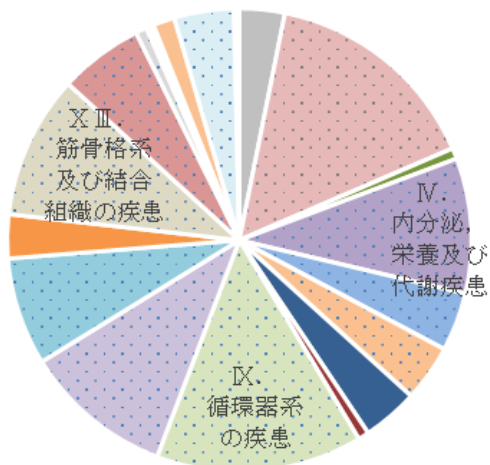
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計

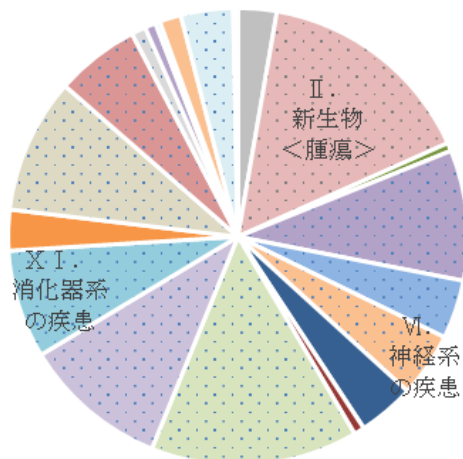
平成26年度



平成27年度



平成28年度



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

医療費全体は横ばいであり、上位5疾病も不動であった。
中位では神経系の疾患が上昇傾向にあり、消化器系の疾患、腎尿路生殖器系の疾患は減少傾向にあった。

大分類による疾病別レセプト件数統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	レセプト件数 ※					
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		順位		順位		順位
I. 感染症及び寄生虫症	16,355	9	17,100	9	17,989	9
II. 新生物＜腫瘍＞	11,517	12	11,961	12	11,812	12
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,855	16	3,930	16	3,662	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	50,557	3	52,294	3	51,965	3
V. 精神及び行動の障害	12,949	11	12,891	11	12,618	11
VI. 神経系の疾患	22,132	7	22,129	7	21,178	7
VII. 眼及び付属器の疾患	18,439	8	18,915	8	18,448	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,741	15	5,747	15	5,561	15
IX. 循環器系の疾患	60,525	1	61,178	1	59,254	1
X. 呼吸器系の疾患	53,498	2	55,026	2	54,712	2
X I. 消化器系の疾患 ※	44,048	4	45,639	4	44,337	4
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	23,736	6	25,157	6	25,261	6
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	38,822	5	38,880	5	39,074	5
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	10,876	13	11,318	13	11,140	13
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	587	20	500	20	451	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	135	21	147	21	135	21
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	784	19	809	19	900	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,254	10	15,803	10	15,536	10
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	9,489	14	10,018	14	9,982	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,827	17	2,924	17	2,932	17
X X II. 特殊目的用コード	0		0		0	
分類外	1,317	18	1,344	18	1,198	18
合計	205,177		210,011		207,307	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

大分類による疾病別患者数統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	患者数 ※					
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		順位		順位		順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,853	8	4,926	8	5,117	8
II. 新生物＜腫瘍＞	3,360	10	3,563	10	3,457	10
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,018	16	1,050	16	1,022	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	5,566	4	5,652	4	5,644	4
V. 精神及び行動の障害	1,330	15	1,344	15	1,288	15
VI. 神経系の疾患	2,597	12	2,581	12	2,584	12
VII. 眼及び付属器の疾患	5,264	5	5,323	6	5,245	6
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,635	14	1,646	14	1,624	14
IX. 循環器系の疾患	5,187	7	5,269	7	5,187	7
X. 呼吸器系の疾患	9,751	1	9,961	1	9,837	1
X I. 消化器系の疾患 ※	6,837	2	7,153	2	6,920	2
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,221	6	5,427	5	5,425	5
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,693	3	5,699	3	5,667	3
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	2,385	13	2,474	13	2,387	13
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	178	20	177	20	155	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	70	21	82	21	62	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	288	19	306	19	320	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,070	9	4,205	9	4,179	9
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,298	11	3,443	11	3,378	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	466	17	494	17	503	17
X X II. 特殊目的用コード	0		0		0	
分類外	333	18	346	18	316	19
合計	16,780		16,972		16,674	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

大分類による疾病別患者一人当たりの医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目(大分類)	患者一人当たりの医療費 ※					
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		順位		順位		順位
I. 感染症及び寄生虫症	17,455	18	21,519	16	17,133	17
II. 新生物＜腫瘍＞	142,930	3	145,043	2	145,234	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	21,622	15	24,303	15	18,385	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	53,841	8	56,102	8	52,690	9
V. 精神及び行動の障害	90,319	5	102,495	4	103,952	4
VI. 神経系の疾患	45,776	9	51,468	9	56,817	7
VII. 眼及び付属器の疾患	24,083	14	24,631	14	24,503	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	18,846	16	15,427	19	14,797	19
IX. 循環器系の疾患	95,516	4	91,720	5	90,650	5
X. 呼吸器系の疾患	35,234	12	35,274	12	33,603	12
X I. 消化器系の疾患 ※	37,475	11	35,369	11	35,668	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,322	17	18,970	18	17,143	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	55,043	7	58,984	7	54,302	8
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	85,426	6	79,759	6	80,009	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	164,352	2	149,698	1	209,799	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	237,844	1	108,570	3	401,193	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	35,171	13	28,848	13	33,074	13
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12,408	20	12,040	20	11,673	20
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	40,886	10	40,597	10	35,064	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	17,034	19	19,960	17	16,987	18
X X II. 特殊目的用コード	0		0		0	
分類外	6,847	21	7,241	21	6,956	21
合計	193,254		198,182		193,379	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

【組合員・家族】

平成26年4月～平成29年3月の新潟県建築国民健康保険組合における、疾病別医療費統計を組合員・家族別に示す。

大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目(大分類)	医療費総計											
	組合員						家族					
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
I. 感染症及び寄生虫症	30,569,297	12	57,637,517	11	36,665,945	11	54,137,933	13	48,366,783	13	51,004,674	13
II. 新生物<腫瘍>	266,771,003	2	325,782,076	1	308,356,278	1	213,473,008	2	191,004,605	2	193,718,215	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	7,925,062	15	15,730,848	15	8,924,304	15	14,086,398	18	9,787,168	17	9,865,340	18
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	155,315,911	3	163,546,475	3	158,363,622	3	144,364,263	5	153,540,717	5	139,017,454	5
V. 精神及び行動の障害	24,061,645	13	19,308,156	14	24,871,604	13	96,061,991	8	118,445,186	6	109,018,389	7
VI. 神経系の疾患	51,375,891	10	58,117,832	10	69,353,212	8	67,505,211	10	74,722,088	9	77,461,860	9
VII. 眼及び付属器の疾患	55,453,964	9	59,306,268	9	56,503,532	9	71,318,571	9	71,802,048	11	72,014,475	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	7,211,494	16	8,563,614	16	8,142,078	16	23,601,179	16	16,829,926	16	15,887,571	17
IX. 循環器系の疾患	309,116,063	1	311,366,167	2	297,843,040	2	186,325,376	3	171,906,389	4	172,355,969	3
X. 呼吸器系の疾患	97,773,892	6	108,069,605	6	86,758,270	6	245,795,776	1	243,296,605	1	243,793,374	1
X I. 消化器系の疾患 ※	152,165,737	4	144,185,715	5	135,239,532	5	※ 104,047,799	7	108,811,547	7	111,584,956	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	31,455,268	11	30,992,641	12	27,710,517	12	64,204,049	11	71,959,836	10	65,290,629	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	150,516,280	5	161,529,294	4	144,583,291	4	162,843,390	4	174,618,548	3	163,146,839	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	85,776,998	7	92,976,794	7	84,577,082	7	117,963,941	6	104,346,920	8	106,403,262	8
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,193,373	18	276,290	20	1,165,179	19	※ 27,061,289	15	26,220,174	14	31,353,667	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※	45,421	21	0		0		※ 16,603,691	17	8,902,728	18	24,873,937	15
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	306,662	20	498,852	19	1,348,858	18	9,822,667	19	8,328,610	19	9,234,877	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,099,133	14	24,517,881	13	24,164,581	14	28,401,153	14	26,108,457	15	24,618,473	16
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	72,661,105	8	70,153,237	8	55,808,395	10	62,179,839	12	69,620,956	12	62,636,285	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,877,108	17	4,907,970	17	5,153,130	17	3,060,894	20	4,952,441	20	3,391,115	20
X X II. 特殊目的用コード	0		0		0		0		0		0	
分類外	757,623	19	1,019,058	18	944,770	20	1,522,522	21	1,486,438	21	1,253,239	21
合計	1,528,428,930		1,658,486,290		1,536,477,220		1,714,380,940		1,705,058,170		1,687,924,600	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

👉組合員は新生物<腫瘍>の医療費が最も高く、家族は呼吸器系の疾患が高かった。
また双方を比べると、組合員は循環器系の疾患が比較的高く、家族は精神及び行動の障害、腎尿路生殖器系の疾患が高い傾向にあった。

②中分類による疾病別医療費統計

平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	235,950,628	7.3%	3,924
	2	0402 糖尿病	141,223,028	4.4%	3,055
	3	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	139,861,864	4.3%	1,145
	4	1113 その他の消化器系の疾患	134,275,195	4.1%	3,392
	5	1402 腎不全	133,979,847	4.1%	165
	6	0403 脂質異常症	107,378,323	3.3%	2,713
	7	0903 その他の心疾患	103,023,857	3.2%	1,388
	8	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	79,871,628	2.5%	2,648
	9	0606 その他の神経系の疾患	79,474,136	2.5%	2,324
	10	1010 喘息	75,336,884	2.3%	2,186
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	235,787,946	7.0%	3,992
	2	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	171,548,370	5.1%	1,290
	3	0402 糖尿病	151,542,288	4.5%	3,189
	4	1113 その他の消化器系の疾患	135,312,864	4.0%	3,629
	5	1402 腎不全	125,291,827	3.7%	170
	6	0403 脂質異常症	109,768,641	3.3%	2,817
	7	0903 その他の心疾患	89,920,263	2.7%	1,434
	8	0606 その他の神経系の疾患	86,836,755	2.6%	2,310
	9	1010 喘息	80,981,905	2.4%	2,365
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	69,853,128	2.1%	2,945
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	212,479,096	6.6%	3,941
	2	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	166,317,501	5.2%	1,227
	3	0402 糖尿病	144,215,054	4.5%	3,146
	4	1113 その他の消化器系の疾患	125,448,787	3.9%	3,425
	5	1402 腎不全	119,979,642	3.7%	176
	6	0903 その他の心疾患	116,892,937	3.6%	1,456
	7	0403 脂質異常症	102,849,454	3.2%	2,777
	8	0606 その他の神経系の疾患	91,868,191	2.8%	2,343
	9	1010 喘息	77,377,902	2.4%	2,382
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	69,097,424	2.1%	2,861

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	1003 その他の急性上気道感染症	39,668,292	4,648	27.7%
	2	1006 アレルギー性鼻炎	52,817,461	4,110	24.5%
	3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	50,500,286	4,070	24.3%
	4	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	43,870,451	3,983	23.7%
	5	0901 高血圧性疾患	235,950,628	3,924	23.4%
	6	1011 その他の呼吸器系の疾患	51,664,401	3,770	22.5%
	7	0703 屈折及び調節の障害	17,576,372	3,725	22.2%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	38,027,100	3,686	22.0%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	45,918,394	3,681	21.9%
	10	1113 その他の消化器系の疾患	134,275,195	3,392	20.2%
平成27年度	1	1003 その他の急性上気道感染症	40,096,741	4,786	28.2%
	2	1006 アレルギー性鼻炎	54,501,823	4,259	25.1%
	3	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	40,464,398	4,212	24.8%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	50,626,338	4,205	24.8%
	5	0901 高血圧性疾患	235,787,946	3,992	23.5%
	6	1202 皮膚炎及び湿疹	48,951,014	3,834	22.6%
	7	1011 その他の呼吸器系の疾患	54,382,186	3,814	22.5%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	39,596,923	3,808	22.4%
	8	0703 屈折及び調節の障害	18,331,677	3,808	22.4%
	10	1113 その他の消化器系の疾患	135,312,864	3,629	21.4%
平成28年度	1	1003 その他の急性上気道感染症	38,462,055	4,780	28.7%
	2	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	42,130,193	4,240	25.4%
	3	1006 アレルギー性鼻炎	50,693,511	4,229	25.4%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	48,783,054	4,179	25.1%
	5	1011 その他の呼吸器系の疾患	51,299,747	4,044	24.3%
	6	0901 高血圧性疾患	212,479,096	3,941	23.6%
	7	1202 皮膚炎及び湿疹	45,163,452	3,826	22.9%
	8	0703 屈折及び調節の障害	18,393,778	3,775	22.6%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	36,548,639	3,757	22.5%
	10	1113 その他の消化器系の疾患	125,448,787	3,425	20.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	35,170,866	26	1,352,726
	2	1402 腎不全	133,979,847	165	811,999
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	30,163,692	69	437,155
	4	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,340,471	23	406,107
	5	0501 血管性及び詳細不明の認知症	6,015,287	20	300,764
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	46,873,945	180	260,411
	7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	37,163,399	155	239,764
	8	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,622,024	35	217,772
	9	0904 くも膜下出血	15,777,477	74	213,209
	10	0905 脳内出血	17,630,693	90	195,897
平成27年度	1	0209 白血病	28,377,872	19	1,493,572
	2	1402 腎不全	125,291,827	170	737,011
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	41,531,106	70	593,302
	4	0501 血管性及び詳細不明の認知症	7,028,752	22	319,489
	5	0208 悪性リンパ腫	15,653,635	59	265,316
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	49,185,739	195	252,235
	7	0602 アルツハイマー病	10,804,250	49	220,495
	8	0904 くも膜下出血	13,231,536	61	216,910
	9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	31,483,589	174	180,940
	10	0601 パーキンソン病	7,521,404	44	170,941
平成28年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	21,122,412	24	880,101
	2	0209 白血病	26,596,603	31	857,955
	3	1402 腎不全	119,979,642	176	681,703
	4	0501 血管性及び詳細不明の認知症	8,142,169	12	678,514
	5	1502 妊娠高血圧症候群	2,166,276	6	361,046
	6	0208 悪性リンパ腫	21,880,927	66	331,529
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	20,880,522	63	331,437
	8	0602 アルツハイマー病	12,948,136	43	301,119
	9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	42,579,851	179	237,876
	10	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	11,509,306	49	234,884

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

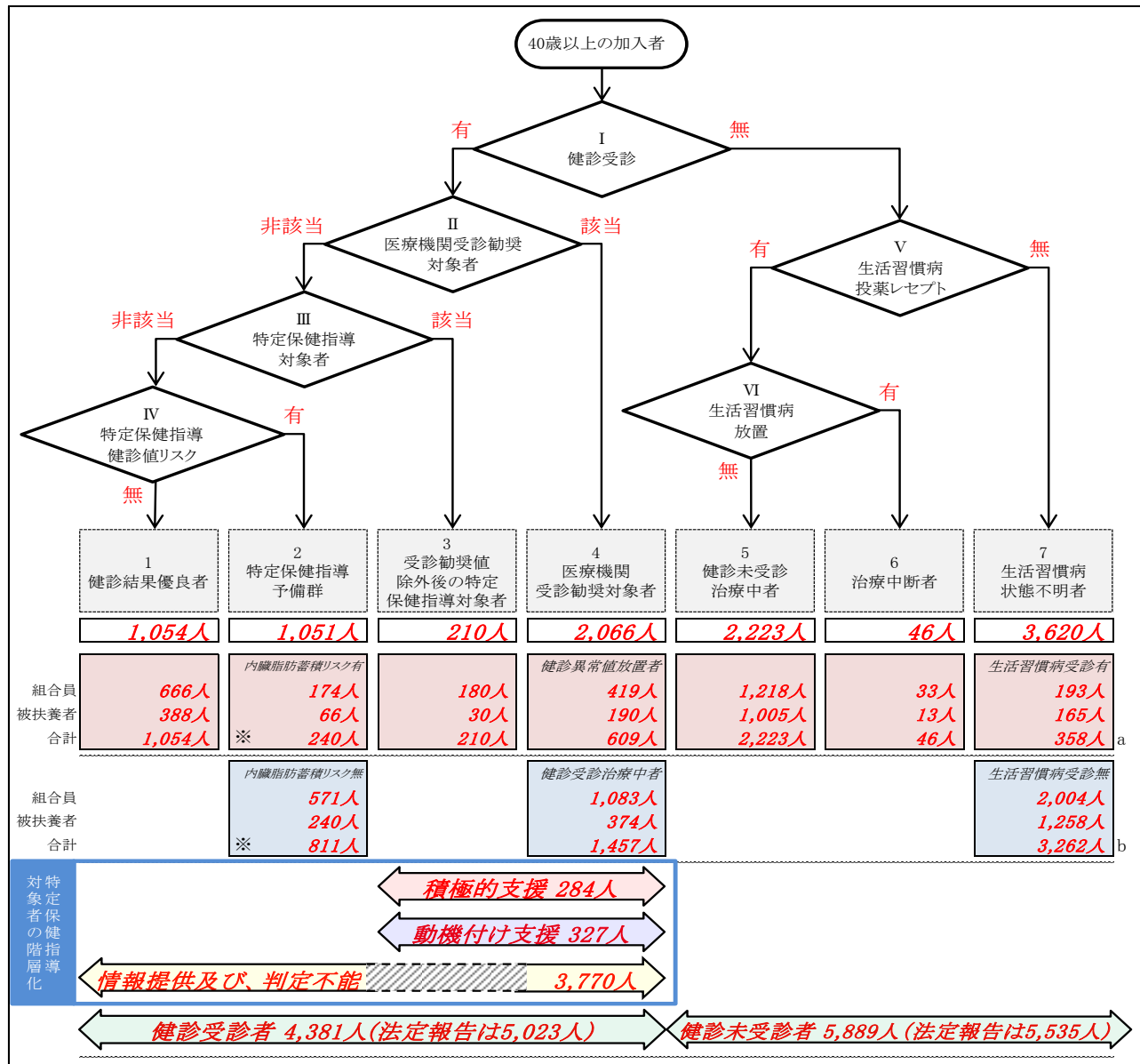
3. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の加入者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12ヵ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

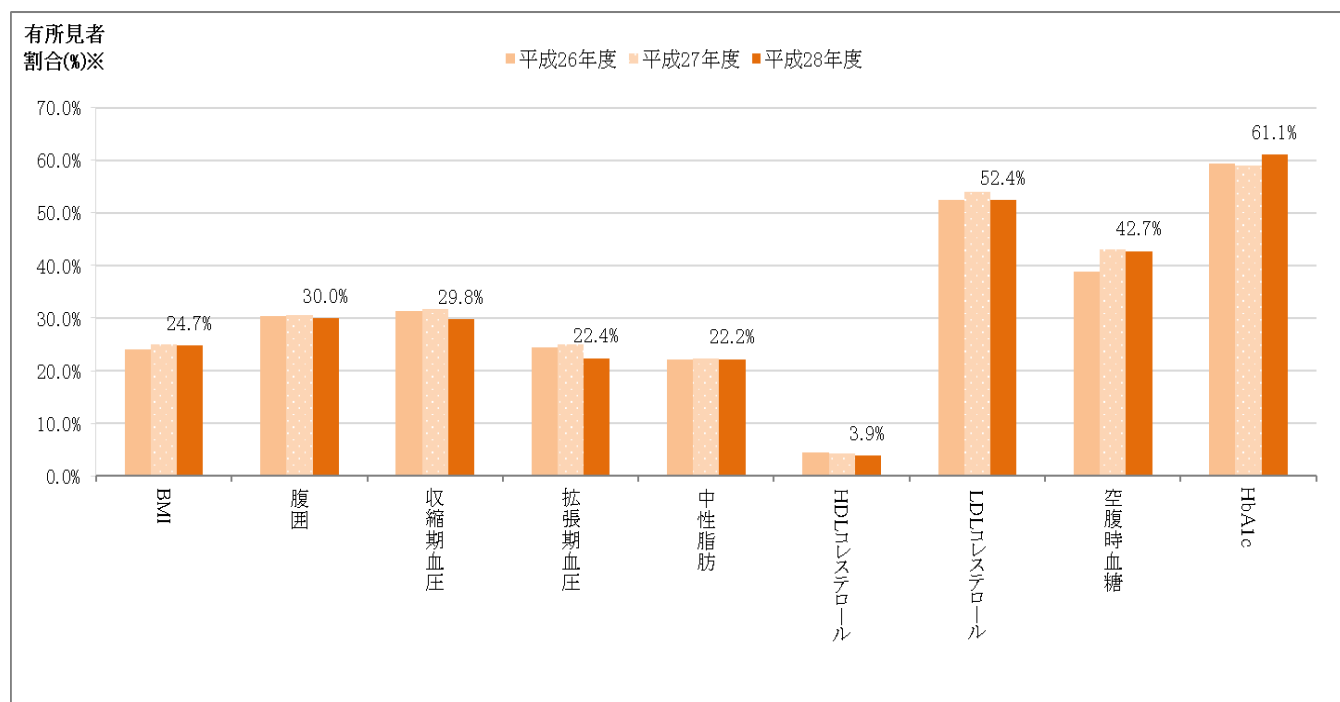
(2) 特定健康診査に係る分析

平成26年4月～平成29年3月の特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

年度別 有所見者割合

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
BMI	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381
	有所見者数(人) ※	1,153	1,231	1,084
	有所見者割合(%) ※	24.0%	25.0%	24.7%
腹囲	対象者数(人) ※	4,804	4,918	4,377
	有所見者数(人) ※	1,462	1,507	1,313
	有所見者割合(%) ※	30.4%	30.6%	30.0%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381
	有所見者数(人) ※	1,506	1,560	1,304
	有所見者割合(%) ※	31.3%	31.7%	29.8%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381
	有所見者数(人) ※	1,172	1,230	981
	有所見者割合(%) ※	24.4%	25.0%	22.4%
中性脂肪	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381
	有所見者数(人) ※	1,063	1,102	973
	有所見者割合(%) ※	22.1%	22.4%	22.2%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381
	有所見者数(人) ※	219	211	169
	有所見者割合(%) ※	4.6%	4.3%	3.9%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381
	有所見者数(人) ※	2,526	2,654	2,297
	有所見者割合(%) ※	52.5%	53.9%	52.4%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	4,134	4,172	3,625
	有所見者数(人) ※	1,607	1,796	1,549
	有所見者割合(%) ※	38.9%	43.0%	42.7%
HbA1c	対象者数(人) ※	4,652	4,725	4,185
	有所見者数(人) ※	2,761	2,784	2,555
	有所見者割合(%) ※	59.4%	58.9%	 61.1%

年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36ヵ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

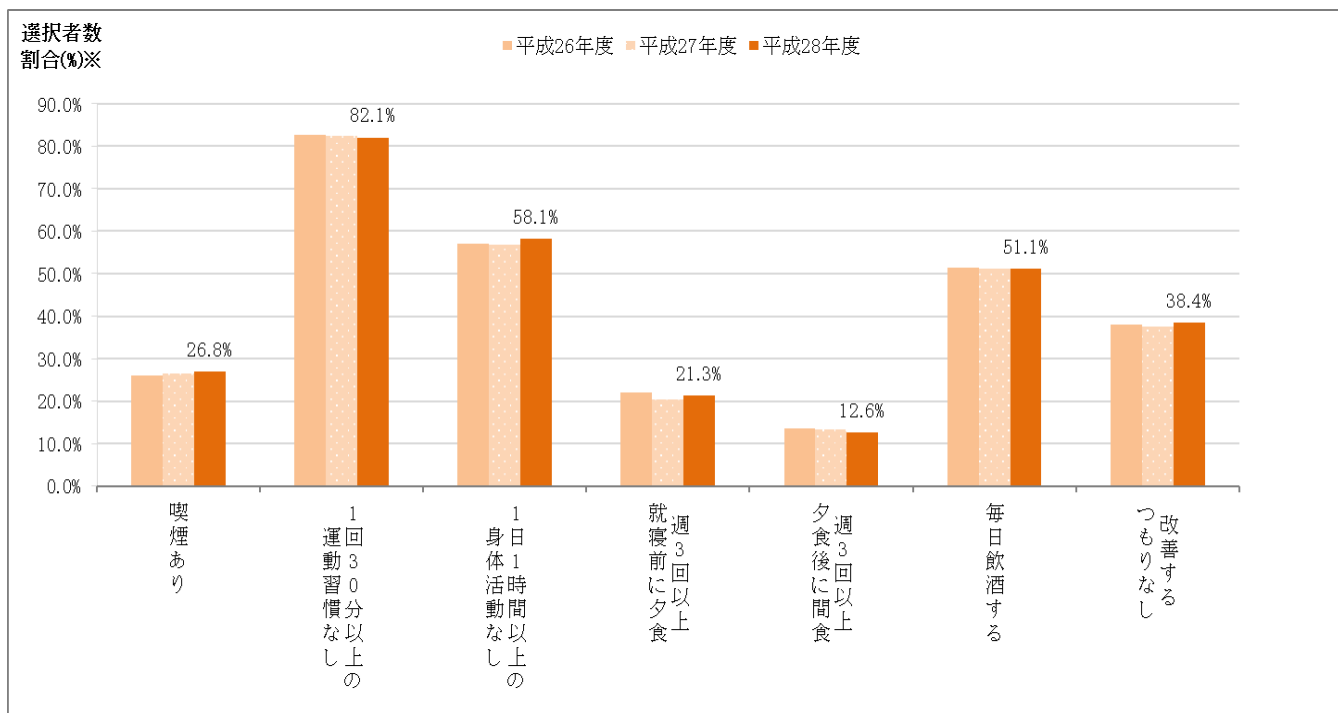
保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

年度別 質問別回答状況

			平成26年度	平成27年度	平成28年度
喫煙習慣	喫煙あり	質問回答者数(人) ※	4,809	4,920	4,381
		選択者数(人) ※	1,250	1,308	1,176
		選択者割合(%) ※	26.0%	26.6%	26.8%
運動習慣	1回30分以上の運動習慣なし	質問回答者数(人) ※	4,809	4,916	4,376
		選択者数(人) ※	3,975	4,051	3,592
		選択者割合(%) ※	82.7%	82.4%	82.1%
	1日1時間以上の身体活動なし	質問回答者数(人) ※	4,808	4,915	4,374
		選択者数(人) ※	2,740	2,798	2,542
		選択者割合(%) ※	57.0%	56.9%	58.1%
食習慣	週3回以上就寝前に夕食	質問回答者数(人) ※	4,807	4,915	4,374
		選択者数(人) ※	1,053	999	931
		選択者割合(%) ※	21.9%	20.3%	21.3%
	週3回以上夕食後に間食	質問回答者数(人) ※	4,805	4,915	4,376
		選択者数(人) ※	653	656	550
		選択者割合(%) ※	13.6%	13.3%	12.6%
飲酒習慣	毎日飲酒する	質問回答者数(人) ※	4,807	4,911	4,377
		選択者数(人) ※	2,466	2,509	2,235
		選択者割合(%) ※	51.3%	51.1%	51.1%
生活習慣	改善するつもりなし	質問回答者数(人) ※	4,780	4,888	4,339
		選択者数(人) ※	1,817	1,834	1,668
		選択者割合(%) ※	38.0%	37.5%	38.4%

年度別 質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

☞喫煙は微増傾向にある。生活習慣病との関連性も指摘されており、喫煙者の有所見者割合は比較的高い可能性がある。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の加入者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

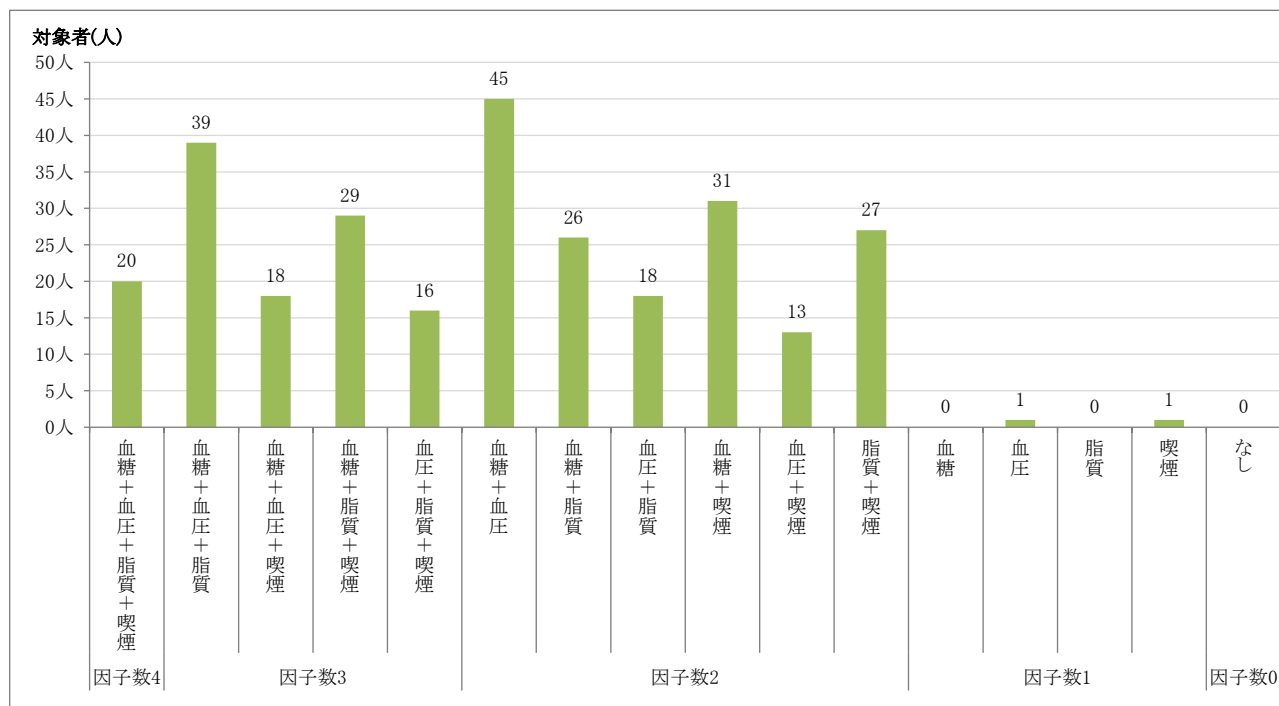
「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は611人である。このうち、積極的支援の対象者は284人、動機付け支援の対象者は327人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			611人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	20人	284人 46%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	39人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	18人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	29人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	16人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	45人	
	●		●			血糖＋脂質	26人	
		●	●			血圧＋脂質	18人	
	●		●	●		血糖＋喫煙	31人	
		●		●		血圧＋喫煙	13人	
			●	●		脂質＋喫煙	27人	
	●				因子数1	血糖	0人	
		●				血圧	1人	
			●			脂質	0人	
				●		喫煙	1人	
					因子数0	なし	0人	
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	4人	327人 54%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	17人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	7人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	7人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	1人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	36人	
	●		●			血糖＋脂質	22人	
		●	●			血圧＋脂質	15人	
	●		●	●		血糖＋喫煙	8人	
		●		●		血圧＋喫煙	6人	
			●	●		脂質＋喫煙	9人	
	●				因子数1	血糖	83人	
		●				血圧	68人	
			●			脂質	43人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	1人	

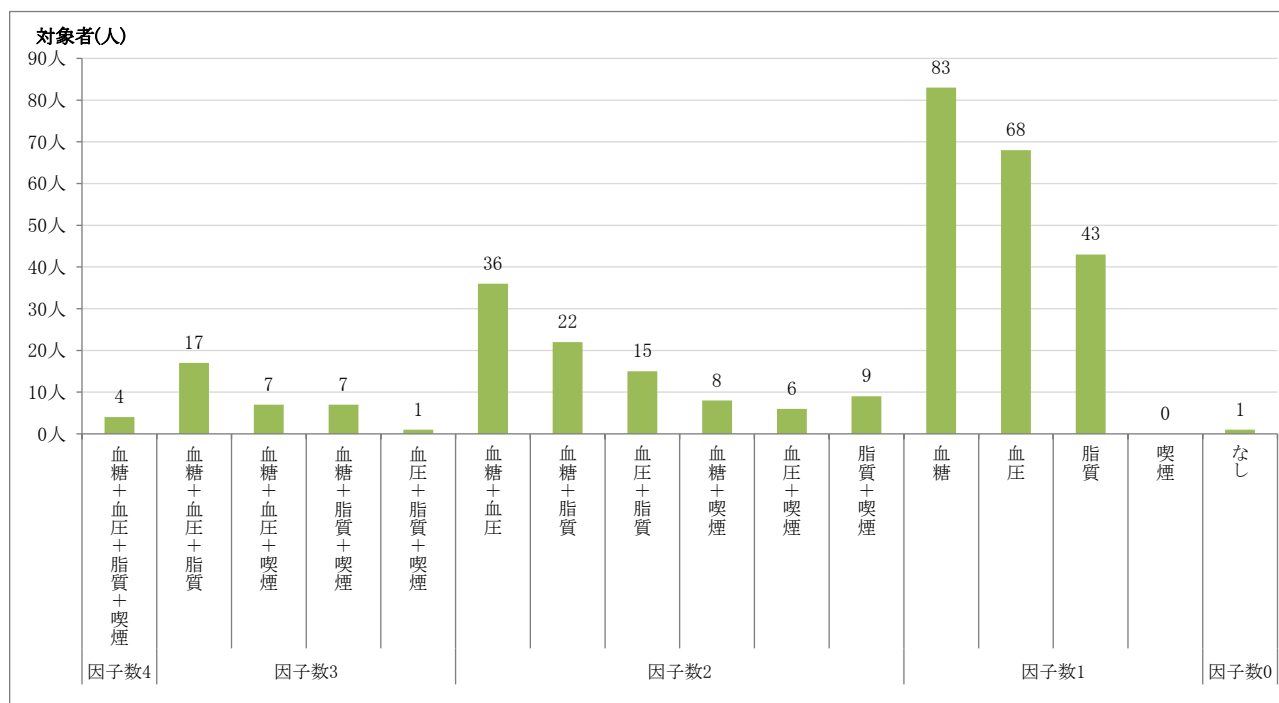
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。
リスク判定の詳細は以下の通りとする。
①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

☞積極的支援、動機付け支援共に、喫煙を伴ったリスク因子に該当する対象者が多い傾向にあった。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する609人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	609 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	130 人
除外患者を除いた候補者数		479 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者479人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位

↑高 効果 低↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 2 人 組合員2人 家族0人	候補者C 4 人 組合員3人 家族1人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 20 人 組合員17人 家族3人	候補者D 61 人 組合員33人 家族28人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 131 人 組合員126人 家族5人	候補者F 261 人 組合員163人 家族98人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			479 人 組合員344人 家族135人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者69人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 46 人
	上記以外のグループ	23 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		69 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	0 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		69 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者69人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 低↓	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0 人 組合員0人 家族0人	候補者A2 1 人 組合員1人 家族0人	候補者A3 0 人 組合員0人 家族0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 3 人 組合員2人 家族1人	候補者B2 6 人 組合員5人 家族1人	候補者B3 1 人 組合員0人 家族1人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 5 人 組合員3人 家族2人	候補者C2 31 人 組合員22人 家族9人	候補者C3 22 人 組合員19人 家族3人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				69 人 組合員52人 家族17人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、53.8%が生活習慣を起因とするものであり、その50.0%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

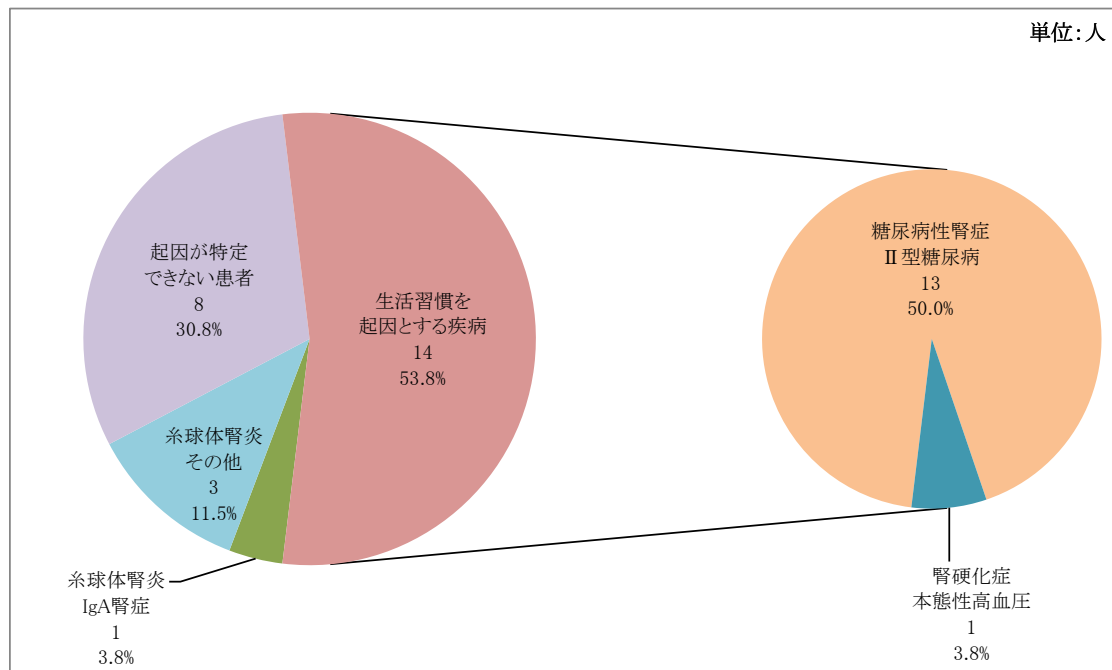
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	26
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	26

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している加入者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

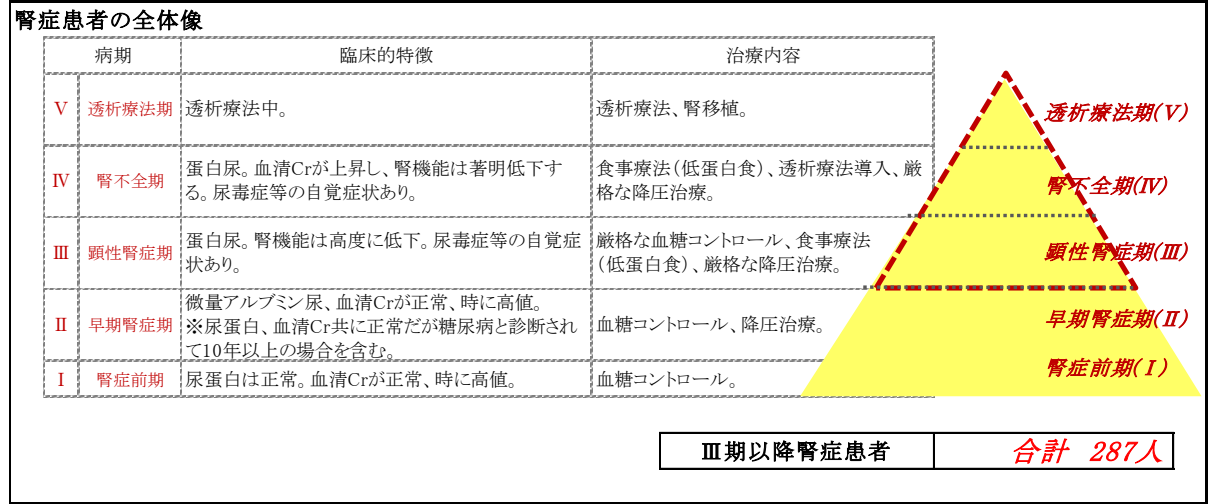
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している加入者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

医療費分解技術(特許第4312757号)、傷病管理システム(特許第5203481号)を使用し、「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者287人中70人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

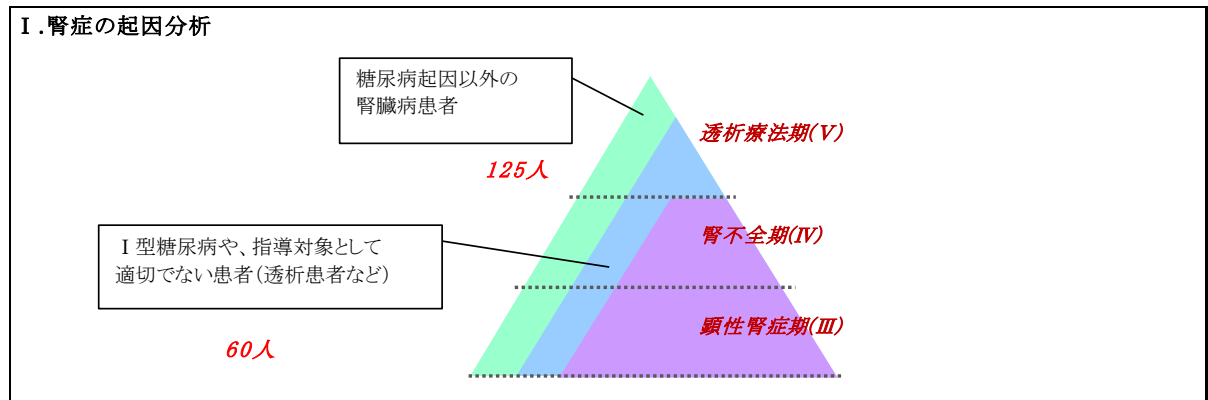
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、125人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、60人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析

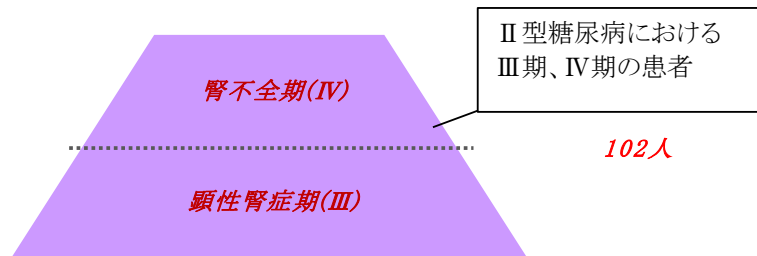


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて102人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

Ⅱ.Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。102人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、32人存在する。

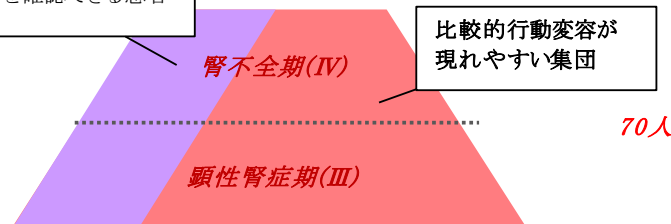
一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、70人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

保健指導対象者の優先順位

Ⅲ.保健指導対象者の優先順位

複雑なケースが含まれる集団
がん、難病、精神疾患、認知症、シャント、
透析予防指導管理料等を確認できる患者

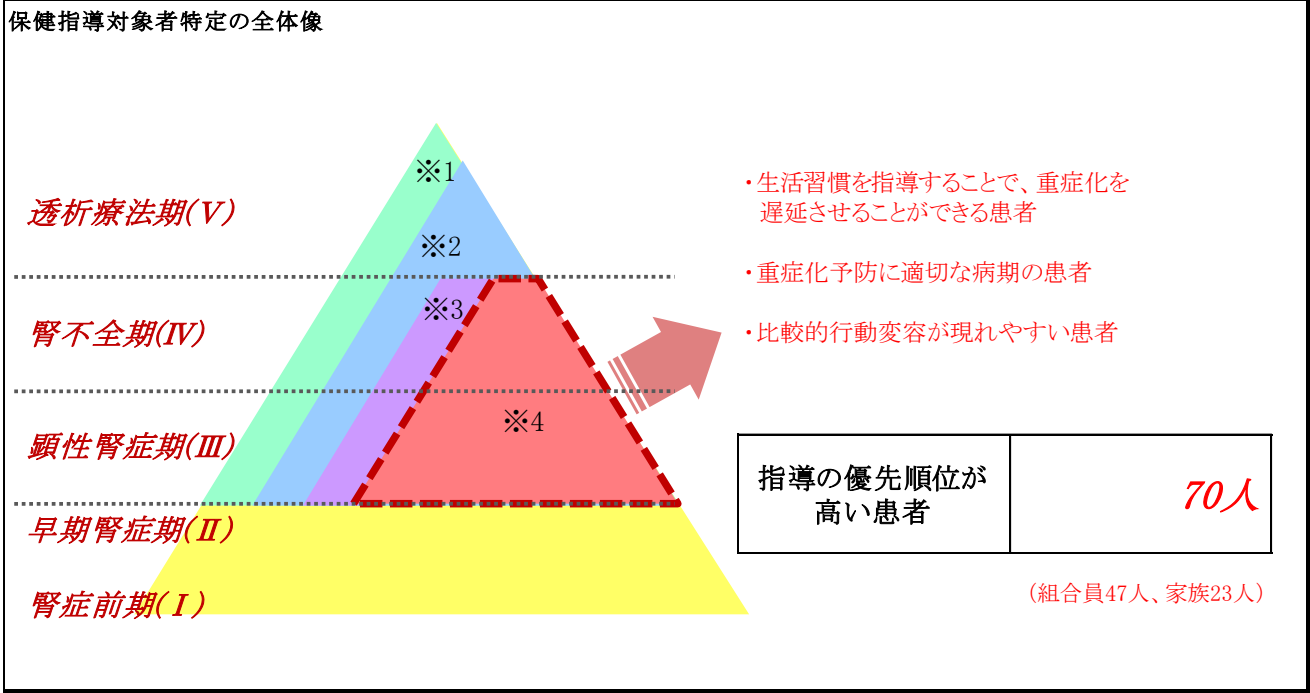
32人



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、70人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者
※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)
※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)
※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを医療費分解技術(特許第4312757号)を用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) ※	6	4	3	1	5	7	4	6	5	7	7	10
12カ月間の延べ人数											65	
12カ月間の実人数											54	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) ※	16	14	20	15	16	17	19	20	21	14	17	20
12カ月間の延べ人数											209	
12カ月間の実人数											81	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) ※	38	32	29	20	22	23	24	30	43	38	33	28
12カ月間の延べ人数											360	
12カ月間の実人数											222	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は54人、頻回受診者は81人、重複服薬者は222人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I.条件設定による指導対象者の特定

- ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に**3医療機関以上**受診している患者
- ・頻回受診患者 …1カ月間で**同一医療機関に12回以上**受診している患者
- ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、**同系医薬品の日数合計が60日を超える**患者

条件設定により候補者となった患者数	342 人
-------------------	--------------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II.除外設定

		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新加入者データで資格喪失している患者	0 人	205 人
除外②	がん、難病等 ※	205 人	



除外患者を除き、候補者となった患者数	137 人
--------------------	--------------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※疑い病名を含む。

※医療費分解技術(特許第4312757号) レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

次に、残る対象者137人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Cは10人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位	
<div>↑高</div> <div>効果</div> <div>低↓</div>	<div>最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月</div> <div>重複・頻回・重複服薬に 該当する患者</div> <div>候補者A</div> <div>2 人</div> <div>(組合員1人、家族1人)</div>
	<div>最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月</div> <div>重複・頻回・重複服薬に 該当する患者</div> <div>候補者B</div> <div>7 人</div> <div>(組合員4人、家族3人)</div>
	<div>最新6カ月レセプトのうち 2カ月</div> <div>重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)</div> <div>候補者C</div> <div>1 人</div> <div>(組合員1人、家族0人)</div>
	<div>その他の 重複・頻回・重複服薬患者</div> <div>候補者としてしない</div> <div>127 人</div> <div>(組合員64人、家族63人)</div>
	<div>効果が高く効率の良い候補者A～候補者Cの患者数</div> <div>10 人</div> <div>(組合員6人、家族4人)</div>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※医療費分解技術(特許第4312757号)

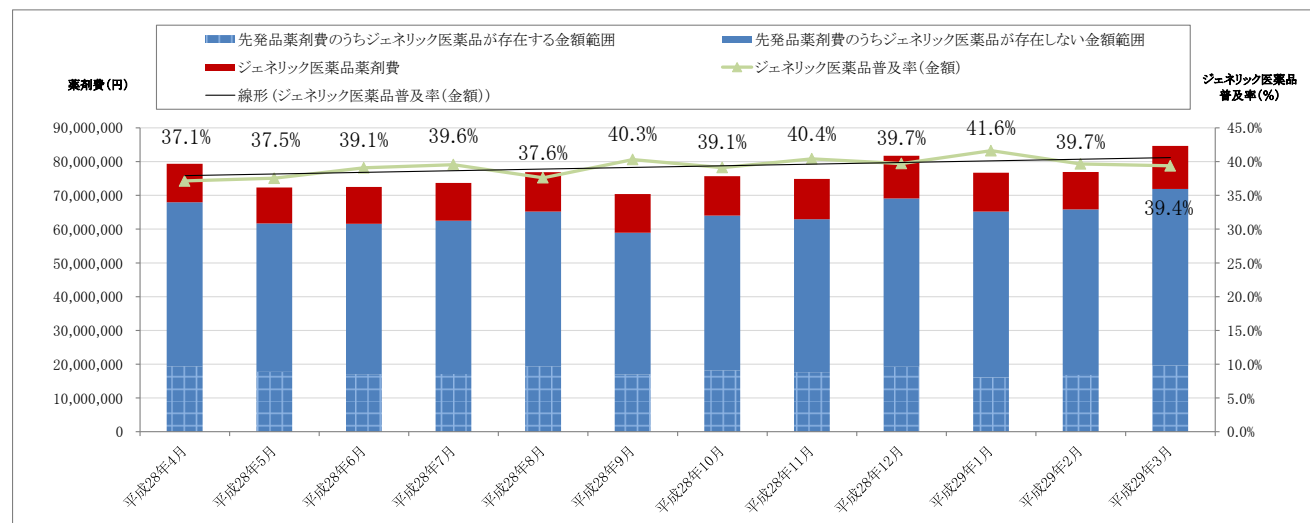
レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は39.2%(金額ベース)、68.3%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



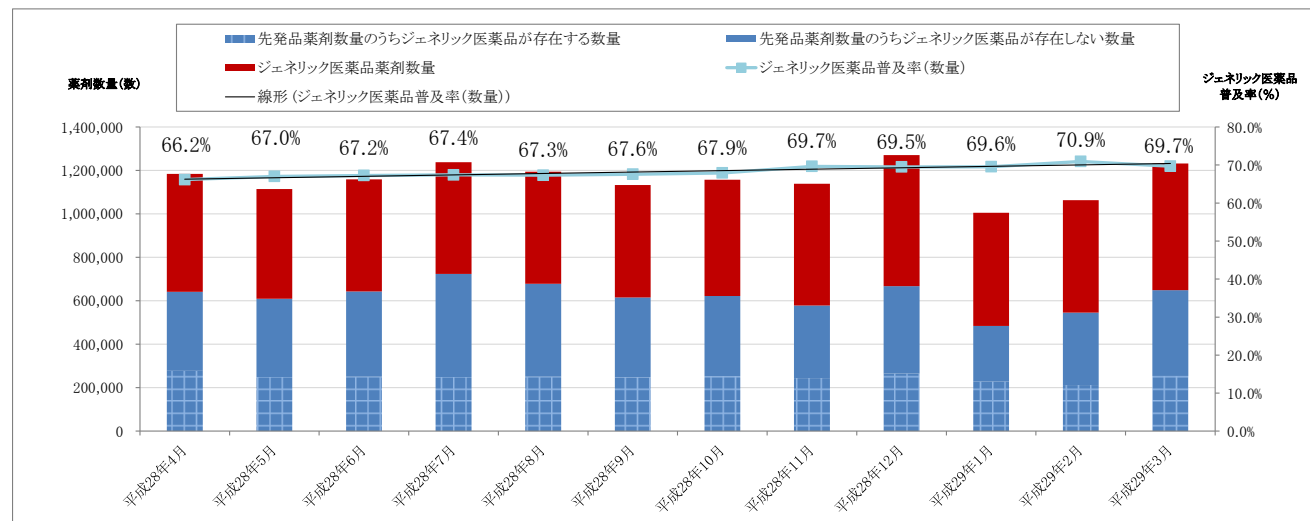
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

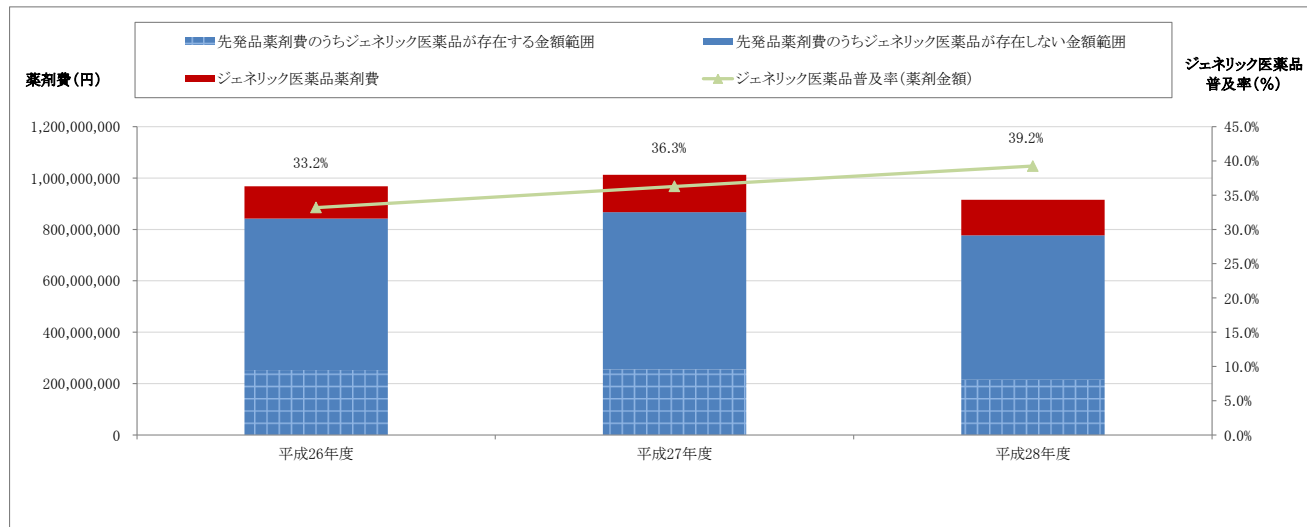
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)39.2%は、平成26年度33.2%より6.0ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)68.3%は、平成26年度58.0%より10.3ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



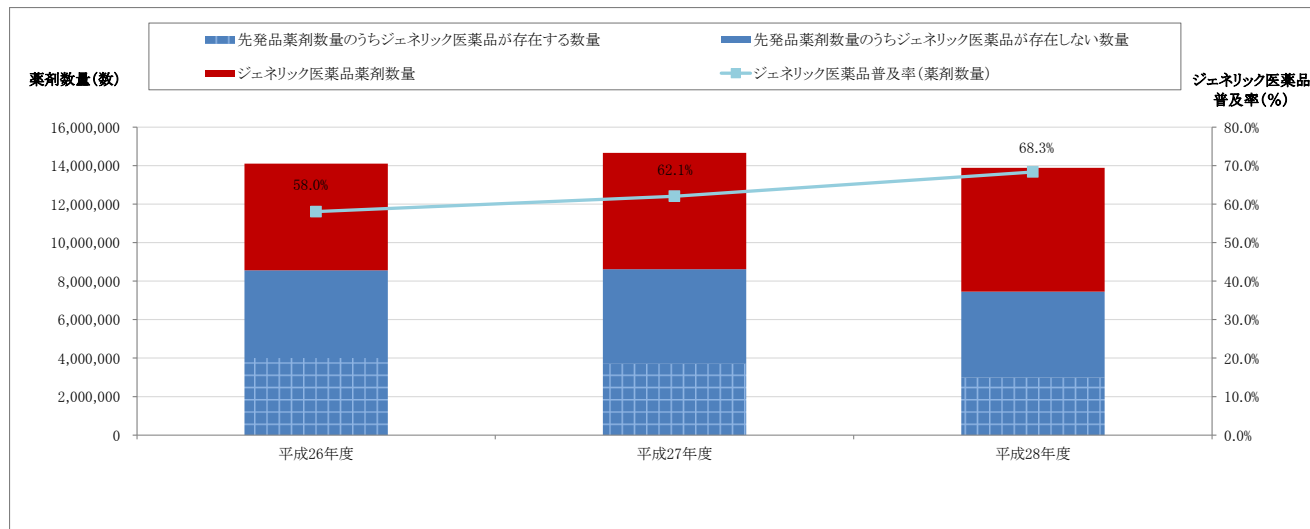
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

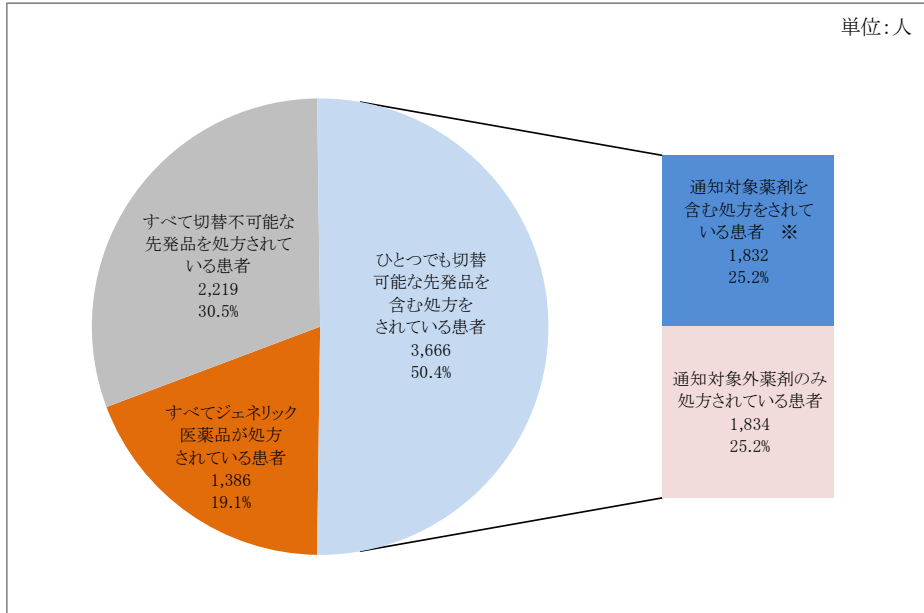
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は7,271人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は3,666人で患者数全体の50.4%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,832人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の25.2%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方ものは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(9) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は449人、実人数は405人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌 対象者数(人)※	27	32	26	17	28	30	32	42	63	54	61	37
											12カ月間の延べ人数	449
											12カ月間の実人数	405

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

実人数(人)	405
件数合計(件)	524

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	85
2	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	58
3	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	36
4	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	32
5	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	30
6	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	29
7	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	29
8	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	19
9	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	13
10	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	10
11	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	8
12	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	7
13	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	7
14	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	7
15	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	7
16	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	6
17	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	5
18	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	5
19	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	5
20	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	5
21	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	4
22	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620161401	ビーエイ配合錠	4
23	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620161401	ビーエイ配合錠	4
24	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	4
25	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621781501	アドエア250ディスカス28吸入用 28ブリスター	4
26	内服	611140784	アセトアミノフェン「ヨシダ」	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	3
27	内服	621677401	アセトアミノフェン錠200mg「タカタ」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	3
28	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	621558101	SG配合顆粒	3
29	内服	612310013	タンナルピン「ホエイ」	内服	620005924	インクレミンシロップ5%	3
30	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	3
31	内服	620379601	フスコデ配合錠	内服	622061101	ドブスOD錠100mg	3
32	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	620160501	PL配合顆粒	3
33	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421115	ホクナリンテープ0.5mg	3
34	内服	621677401	アセトアミノフェン錠200mg「タカタ」	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	2
35	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	2
36	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	2
37	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620160501	PL配合顆粒	2
38	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620067313	アセトアミノフェン「ファイザー」原末	2
39	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620159701	小児用ベレックス配合顆粒	2
40	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	2
41	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	2
42	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	2
43	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	621498101	カフコデN配合錠	2
44	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	2
45	内服	622040901	シュアポスト錠0.25mg	内服	622017301	グリメビル錠0.5mg「三和」	2
46	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620002022	カロナール細粒20%	2
47	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620002634	アセトアミノフェン錠200「タツミ」 200mg	1
48	内服	620004279	アザニン錠50mg	内服	622057301	フェブリク錠20mg	1
49	内服	611140022	アセトアミノフェン	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	1
50	内服	611140784	アセトアミノフェン「ヨシダ」	内服	621498101	カフコデN配合錠	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

(10)服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は531人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層		対象者数(人)							
		～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～
加入者数(人)		7,707	1,278	998	950	1,351	2,477	2,818	1,188
薬剤種類数	1種類	131	18	12	9	14	45	58	17
	2種類	75	11	10	12	18	65	91	36
	3種類	59	12	7	14	31	73	101	39
	4種類	30	8	8	17	22	53	83	39
	5種類	21	5	3	9	14	53	83	39
	6種類	14	1	1	5	16	40	54	31
	7種類	4	1	2	8	15	27	43	27
	8種類	4	0	2	1	8	13	27	23
	9種類	1	0	0	3	5	7	27	13
	10種類	0	0	0	0	0	9	10	12
	11種類	1	0	0	1	3	3	9	3
	12種類	0	1	0	2	2	5	3	6
	13種類	0	0	0	0	1	3	6	5
	14種類	1	0	0	0	0	0	5	1
	15種類	0	0	0	0	0	3	3	1
	16種類	0	0	0	2	0	0	2	2
	17種類	0	0	0	0	0	0	1	1
	18種類	1	0	0	0	0	0	0	0
	19種類	0	0	0	0	0	0	0	0
	20種類	0	0	0	0	0	0	0	0
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	342	57	45	83	149	399	606	295



長期多剤服薬者数(人)※	531
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者531人が加入者全体に占める割合は2.8%、長期服薬者全体に占める割合は26.9%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	加入者数(人)	7,707	1,278	998	950	1,351	2,477	2,818	1,188	18,767
B	長期服薬者数(人)※	342	57	45	83	149	399	606	295	1,976
C	長期多剤服薬者数(人)※	26	3	5	22	50	110	190	125	531
C/A	加入者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.3%	0.2%	0.5%	2.3%	3.7%	4.4%	6.7%	10.5%	2.8%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	7.6%	5.3%	11.1%	26.5%	33.6%	27.6%	31.4%	42.4%	26.9%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

4. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成26年度から平成28年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	循環器系の疾患	495, 441, 439円
	2位	新生物＜腫瘍＞	480, 244, 011円
	3位	呼吸器系の疾患	343, 573, 723円
平成27年度	1位	新生物＜腫瘍＞	516, 786, 681円
	2位	循環器系の疾患	483, 272, 556円
	3位	呼吸器系の疾患	351, 369, 401円
平成28年度	1位	新生物＜腫瘍＞	502, 074, 493円
	2位	循環器系の疾患	470, 199, 009円
	3位	呼吸器系の疾患	330, 552, 919円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	高血圧性疾患	235, 950, 628円
	2位	糖尿病	141, 223, 028円
	3位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	139, 861, 864円
平成27年度	1位	高血圧性疾患	235, 787, 946円
	2位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	171, 548, 370円
	3位	糖尿病	151, 542, 288円
平成28年度	1位	高血圧性疾患	212, 479, 096円
	2位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	166, 317, 501円
	3位	糖尿病	144, 215, 054円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 26 年度	高額レセプト件数	768件
	高額レセプト件数割合	0.4%
	高額レセプト医療費割合	23.1%
平成 27 年度	高額レセプト件数	818件
	高額レセプト件数割合	0.4%
	高額レセプト医療費割合	24.1%
平成 28 年度	高額レセプト件数	764件
	高額レセプト件数割合	0.4%
	高額レセプト医療費割合	23.8%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 26 年度	1位	白血病	5,863,789円
	2位	腎不全	5,823,323円
	3位	その他の耳疾患	4,869,470円
平成 27 年度	1位	白血病	7,712,600円
	2位	くも膜下出血	7,107,945円
	3位	腎不全	5,614,852円
平成 28 年度	1位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	8,607,480円
	2位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	6,069,158円
	3位	白血病	6,001,800円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	58.0%	62.1%	68.3%

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 平成28年度の疾病中分類において糖尿病が3,146人（26年度は3,055人、27年度は3,189人）、高血圧性疾患が3,941人（26年度は3,924人、27年度は3,992人）、脂質異常症が2,777人（26年度は2,713人、27年度は2,817人）存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診勧奨 ・特定保健指導の実施
◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 平成28年度は健診異常値放置者が609人、生活習慣病治療中断者69人が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者受診勧奨 ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
◆糖尿病性腎症 平成28年度は人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が13人存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防
◆重複・頻回受診者、重複服薬者 平成28年度は重複受診者が54人、頻回受診者が81人、重複服薬者が222人存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・受診行動適正化指導
◆ジェネリック医薬品の普及率 国が定める現在の目標（80%以上）と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知
◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する。医療機関等に情報提供し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤併用禁忌防止
◆服薬の状況 多数の長期多剤服薬者が存在する。多剤服薬は副作用が起りやすくなり様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬情報通知

△糖尿病、高血圧、脂質異常等の生活習慣病の医療費が高く、透析に繋がっているため、特定健診受診率の向上を軸とし、糖尿病性腎症重症化予防、健診異常値放置者受診勧奨といった各種保健指導を行う事が大切である。また、重複・頻回といった受診行動の適正化も医療費適正化に有効な手立てといえる。次に対策としての具体的な事業内容を示す。

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

本データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

	事業名	事業目的	事業概要
①	特定健診 受診率向上対策	特定健診の受診率の向上を図ることにより、被保険者の健康増進につなげる。	特定健診の受診率を向上させる目的として、自己負担の無料化を行う。
②	特定保健指導	対象者に指導を行う事で、被保険者の生活習慣の改善につなげる。	特定健診とのセット券を発行し、同日受診を行う。自己負担は無料とする。
③	健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健診を受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
④	生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者の減少	かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
⑤	受診行動適正化 指導事業（重複・頻 回受診・重複服薬）	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
⑥	糖尿病性腎症 重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行 阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

評価指数・評価					
アウトプット評価			アウトカム評価		
指標	目標値	現状	指標	目標値	現状
受診率	100%		特定健診受診率	H31 49% H32 50%	48%
実施率	5%		特定保健指導実施率	H31 10% H32 15%	8%
対象者への 通知	100%		対象者の医療機関受診率	10%	30%
対象者への 通知	100%		対象者の医療機関受診率	10%	50%
対象者への 指導実施率	10%		(1)指導完了者の受診行動適正化割合 (2)指導完了者の医療費減少率 (3)重複・頻回受診者、重複服薬者減少率	70%	33%
対象者への 指導実施率	10%		指導完了者の検査値改善率	20%	

2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健診 受診率向上対策	P	D	CA	P	D	CA
特定保健指導	P	D	CA	P	D	CA
健診異常値放置者 受診勧奨事業	P	D	CA	P	D	CA
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	P	D	CA	P	D	CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業	P	D	CA	P	D	CA
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	P	D	CA	P	D	CA

3. 各事業の実施内容と評価方法

本データヘルス計画における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健診受診率向上対策

【事業目的】

特定健診の受診率の向上を図ることにより、被保険者の健康増進につなげる。

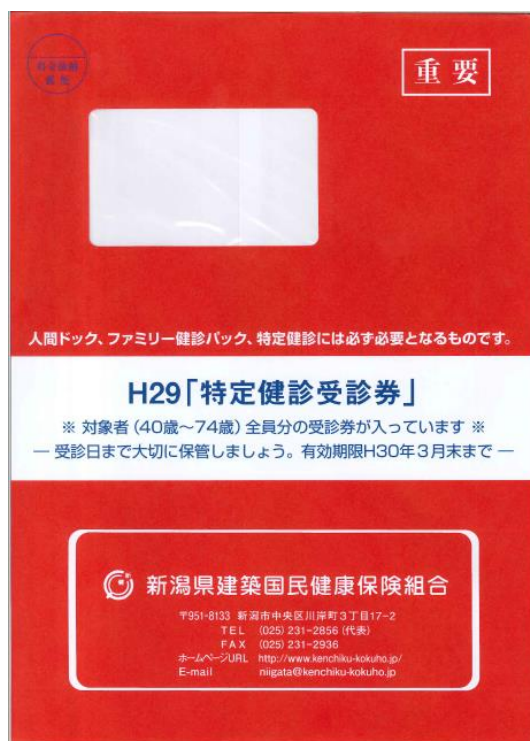
【事業概要】

特定健診の受診率を向上させる目的として、案内通知率を上げる。

【実施内容】

特定健診受診券を目立つように赤い封筒で郵送する

通知書デザイン



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
受診率	短期	特定健診受診率 H30 48% H31 49% H32 50%	特定健診受診率を確認する。

(2) 特定保健指導

【事業目的】

対象者に指導を行う事で、被保険者の生活習慣の改善につなげる。

【事業概要】

特定健診とのセット券を発行し、同日受診を行う。自己負担は無料とする。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
実施率	短期	特定保健指導実施率 H30 8% H31 10% H32 15%	特定保健指導実施率を確認する。

(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業

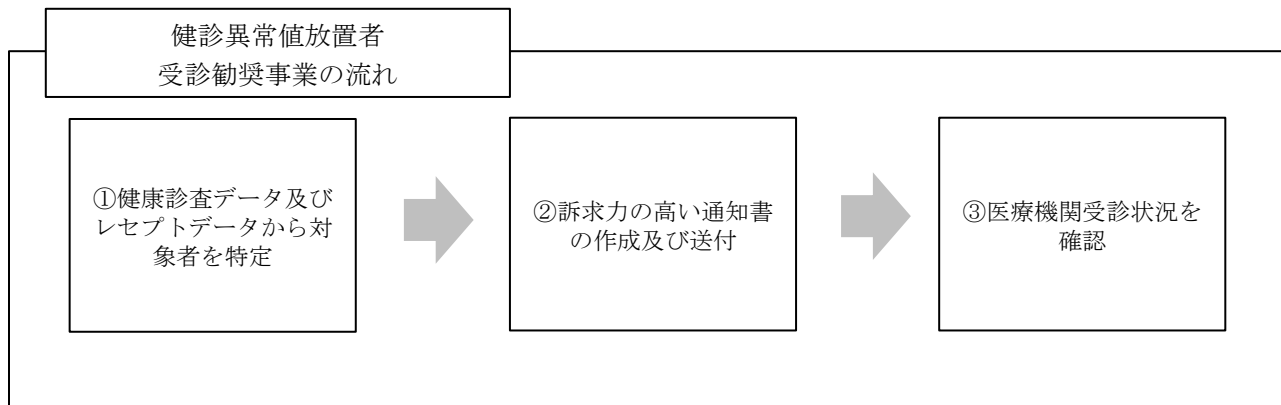
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



通知書デザイン

1234567 0000000001
■■■■■■ 1丁目 2〜3-4
サンブル 花子 様

999999

あなたの健康に関する
大切なお知らせです。

新潟県健康国民健康保険組合
新潟市中央区川岸町3-17-2
TEL 025-231-2856 FAX 025-231-2936

あなたの健康状態を確認しましょう。

生活習慣病は、自覚症状がないまま徐々に進行します。気づいたときには症状がかなり悪化し、脳卒中、心臓病や糖尿病の合併症など重症化するリスクが高まっています。健診の結果、「要治療」、「要精密検査」と判定された方は、早急にかかりつけ医に相談するか、医療機関を受診されることをお勧めします。

医師の診断に基づき緊急性に治療を要されている方や、既に病気が発症し、医師より「受診の必要なし」と判定いただいた方にこの「お知らせ」が届いた場合はご確認ください。

特定健康診査 リーダーボードの 見方

数々の検定項目について、「要治療・精密検査ゾーン」、「要経過観察・生活改善ゾーン」、「要健康増進ゾーン」(『要治療ゾーン』のうち、自分ひとりのリスクに絞ったもの)と、どの項目に注意が必要か知ることができます。

例

あなたの検査数値を
表しています。
ご自身の検査数値が
どのゾーンに当てはまる
かご確認ください。

要治療・精密検査ゾーン

要治療・精密検査ゾーンは、10年間の糖尿病、心臓病の発症リスクが「要経過観察ゾーン」よりも高い状態です。

要経過観察・生活改善ゾーン

要経過観察・生活改善ゾーンは、10年間の糖尿病、心臓病の発症リスクが「要健康増進ゾーン」よりも高い状態です。

要健康増進ゾーン

要健康増進ゾーンは、10年間の糖尿病、心臓病の発症リスクが最も低い状態です。

あなたのデータは裏面でお知らせしています。

あなたのお体の状態についてのお知らせ

平成28年08月30日に受けられた特定健康診査結果は以下の通りです。
あなたの健康のため、医療機関の受診をお勧めします。

糖尿病の発症リスク

同性同年齢と比べた
あなたの現在のリスク **1.3 倍**

心血管病の発症リスク

同性同年齢と比べた
あなたの現在のリスク **1.7 倍**

※あなたの検査値をもとに、10年間の糖尿病、心血管病の発症リスク^{※1}を予測しています。
また、10年間の発症リスクとは、現在の健康状態(本誌上の検査状態)をもとに、その後10年の間に治療が必要であると医学的に診断が下される状態になる確率を科学的に推計し、リスク(危険度)として表したものです。

あなたの数値

平成28年08月30日の
受診結果

項目	数値	単位	基準値
体重指数(BMI)	28.8	kg/m ²	18.5~24.9
空腹時血糖	141	mg/dL	70~100
HbA1c (NGSP)	5.8	%	5.6~6.4
総コレステロール	178	mg/dL	150~199
LDLコレステロール	107	mg/dL	100~129
HDLコレステロール	39	mg/dL	40~59
中性脂肪	133	mg/dL	100~129

※1 10年間の糖尿病・心血管病の発症リスクは、年齢、性別、BMI、空腹時血糖、HbA1c、総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪の7項目に基づき推計されています。

右図はあなたの
特定健康診査の
結果です。

最高血圧 総コレステロール
BMI LDLコレステロール
空腹時血糖 中性脂肪
HbA1c (NGSP) HDLコレステロール

〓要治療・精密検査ゾーン
〓要経過観察・生活改善ゾーン
〓要健康増進ゾーン
〓要健康増進ゾーン

〓10年間の糖尿病・心血管病の発症リスクは、年齢、性別、BMI、空腹時血糖、HbA1c、総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪の7項目に基づき推計されています。

〓10年間の糖尿病・心血管病の発症リスクは、年齢、性別、BMI、空腹時血糖、HbA1c、総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪の7項目に基づき推計されています。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 10%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	健診異常値放置者 10% 減少	健診異常値放置者数の推移により確認する。

(4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

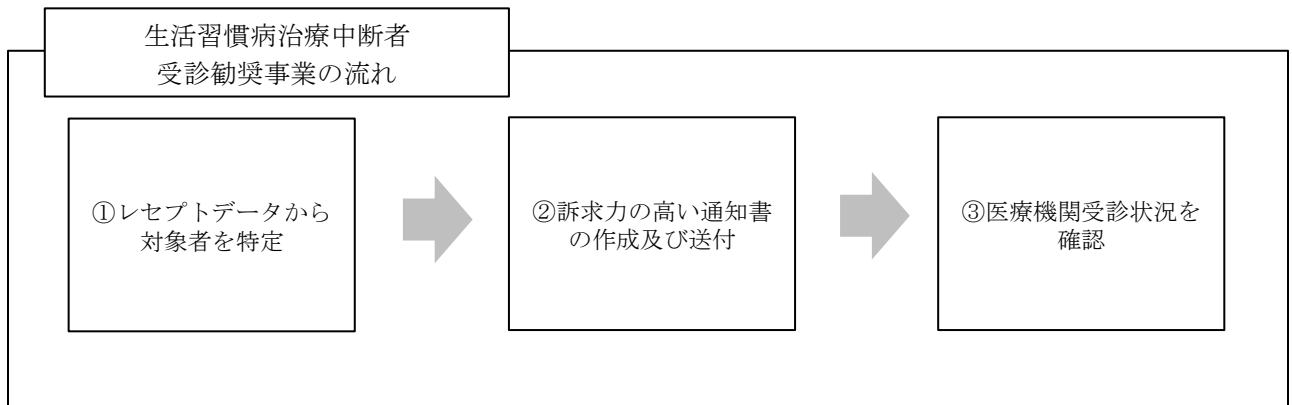
【事業目的】

生活習慣病治療中断者の減少

【実施概要】

かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



通知書デザイン

1234567 0000000001
■■■■■■■■■■：丁目2-34

サンプル 花子 様

99999

あなたの健康に関する
大切なお知らせです。

新潟県保健衛生局健康保険組合
新潟市中央区川岸町3-17-2
TEL 025-231-2856 FAX 025-231-2906

**あなたは医療機関での
生活習慣病の治療を中断
されていないでしょうか？**

**この通知は診療報酬明細書(レセプト)
を基に、生活習慣病の受診を中断されて
いると思われる方に送付しています。**

生活習慣病は継続して治療を受けることが大切です。
もし、中断されているのであれば、なるべく早く
治療を再開されることをお勧めします。

なお、医師の指示に基づき定期的に治療を受けら
れている方や、既に病気が完治
し、医師より「受診の必要なし」
と判断をいただいた方にこの
「お知らせ」が届いた場合は
ご容赦ください。

【生活習慣病の治療を怠ったとき、裏面のようなことが考えられます】

【生活習慣病の治療を怠ったとき、次のようなことが考えられます】

**生活習慣病は、自覚症状が出にくいこともあり、
気づいたときには病状がかなり悪化していることも...**

**治療せず
放っておくと**

- 腎不全
- 狭心症
- 脳梗塞
- 脳出血
- 心筋梗塞
- など...

最悪の場合
「失明」「四肢切断」
「人工透析」「半身の麻痺」
「認知症」など
将来、介護が必要になる
危険性が高くなり、
深刻な事態を招きます。

生活習慣病は、早めの予防、早めの治療がなにより大切です。
ぜひ早めに医療機関を受診しましょう。

Q 特に今は悪いところがないので、
通院していないのですが..

A 生活習慣病は自覚症状が出にくいこともあります。
気づいたときにはかなり病状が悪化していることも少な
くありません。
生活習慣病は早めの予防、早めの治療が何より重要
です。医療機関での受診を中断されている場合は早めに
治療を再開されることをお勧めします。

医療機関での医療費等の窓口負担(一部負担金)は、ご本人の負担になります。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 10%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	生活習慣病治療中断者 10% 減少	生活習慣病治療中断者数の推移により確認する。

(5)受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

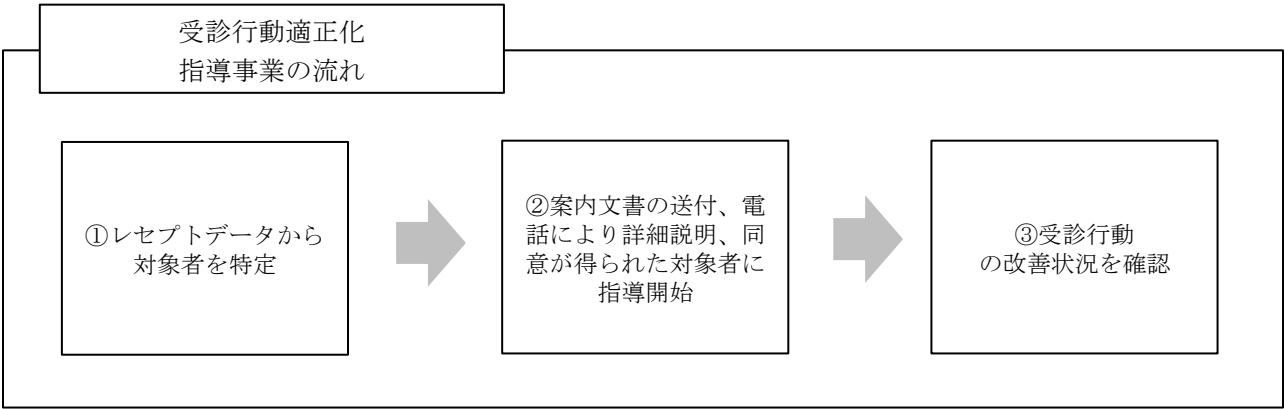
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者の指導実施率 10% 以上	短期	指導完了者の受診行動適正化 20% 指導完了者の医療費 20% 減少	指導後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期	重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少	多受診対象者数の推移により確認する。

(6)糖尿病性腎症重症化予防事業

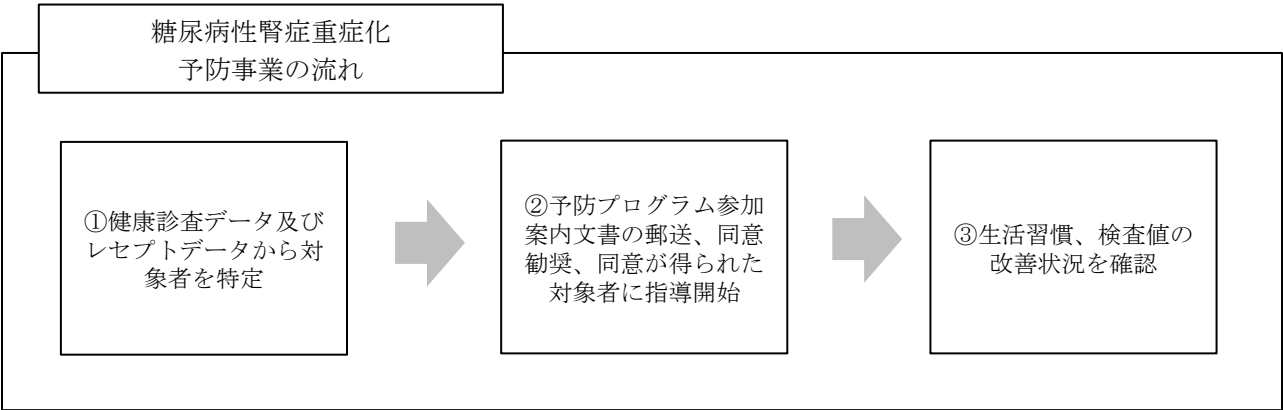
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

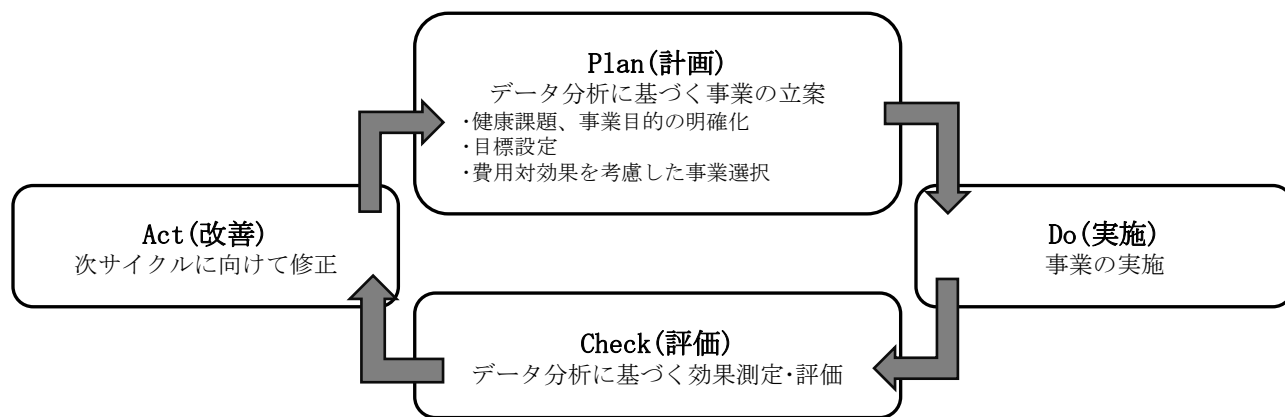
アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者の指導実施率 10% 以上	短期	指導完了者の検査値改善率 20%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。
	中長期	新規人工透析患者割合 10%	レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

第4章 その他

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 事業運営上の留意事項

保健事業の推進に当たっては、他部門との連携が重要になる。組合員が所属する事業所との連携により事業を実施し、組合全体の健康水準の底上げを図る。

4. 個人情報の保護

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

年度別 特定健康診査結果分析

1. 有所見者割合

平成26(2014)年度から平成28(2016)年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381		
	有所見者数(人) ※	1,153	1,231	1,084		
	有所見者割合(%) ※	24.0%	25.0%	24.7%		
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020		
	有所見者数(人) ※	856	898	782		
	有所見者割合(%) ※	25.5%	26.4%	25.9%		
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361		
	有所見者数(人) ※	297	333	302		
	有所見者割合(%) ※	20.5%	21.9%	22.2%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
男性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
女性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,804	4,918	4,377		
	有所見者数(人) ※	1,462	1,507	1,313		
	有所見者割合(%) ※	30.4%	30.6%	30.0%		
男性	対象者数(人) ※	3,362	3,397	3,020		
	有所見者数(人) ※	1,222	1,253	1,097		
	有所見者割合(%) ※	36.3%	36.9%	36.3%		
女性	対象者数(人) ※	1,442	1,521	1,357		
	有所見者数(人) ※	240	254	216		
	有所見者割合(%) ※	16.6%	16.7%	15.9%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
男性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
女性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381		
	有所見者数(人) ※	1,506	1,560	1,304		
	有所見者割合(%) ※	31.3%	31.7%	29.8%		
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020		
	有所見者数(人) ※	1,057	1,079	916		
	有所見者割合(%) ※	31.4%	31.8%	30.3%		
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361		
	有所見者数(人) ※	449	481	388		
	有所見者割合(%) ※	31.1%	31.6%	28.5%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
男性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
女性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381		
	有所見者数(人) ※	1,172	1,230	981		
	有所見者割合(%) ※	24.4%	25.0%	22.4%		
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020		
	有所見者数(人) ※	929	989	776		
	有所見者割合(%) ※	27.6%	29.1%	25.7%		
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361		
	有所見者数(人) ※	243	241	205		
	有所見者割合(%) ※	16.8%	15.8%	15.1%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
男性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
女性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381		
	有所見者数(人) ※	1,063	1,102	973		
	有所見者割合(%) ※	22.1%	22.4%	22.2%		
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020		
	有所見者数(人) ※	838	850	757		
	有所見者割合(%) ※	24.9%	25.0%	25.1%		
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361		
	有所見者数(人) ※	225	252	216		
	有所見者割合(%) ※	15.6%	16.5%	15.9%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
男性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
女性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381		
	有所見者数(人) ※	219	211	169		
	有所見者割合(%) ※	4.6%	4.3%	3.9%		
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020		
	有所見者数(人) ※	197	186	149		
	有所見者割合(%) ※	5.9%	5.5%	4.9%		
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361		
	有所見者数(人) ※	22	25	20		
	有所見者割合(%) ※	1.5%	1.6%	1.5%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
男性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
女性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381		
	有所見者数(人) ※	2,526	2,654	2,297		
	有所見者割合(%) ※	52.5%	53.9%	52.4%		
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020		
	有所見者数(人) ※	1,711	1,789	1,551		
	有所見者割合(%) ※	50.9%	52.7%	51.4%		
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361		
	有所見者数(人) ※	815	865	746		
	有所見者割合(%) ※	56.4%	56.8%	54.8%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
男性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
女性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,134	4,172	3,625		
	有所見者数(人) ※	1,607	1,796	1,549		
	有所見者割合(%) ※	38.9%	43.0%	42.7%		
男性	対象者数(人) ※	3,067	3,075	2,684		
	有所見者数(人) ※	1,304	1,467	1,288		
	有所見者割合(%) ※	42.5%	47.7%	48.0%		
女性	対象者数(人) ※	1,067	1,097	941		
	有所見者数(人) ※	303	329	261		
	有所見者割合(%) ※	28.4%	30.0%	27.7%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
男性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
女性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,652	4,725	4,185		
	有所見者数(人) ※	2,761	2,784	2,555		
	有所見者割合(%) ※	59.4%	58.9%	61.1%		
男性	対象者数(人) ※	3,268	3,278	2,894		
	有所見者数(人) ※	1,918	1,916	1,734		
	有所見者割合(%) ※	58.7%	58.5%	59.9%		
女性	対象者数(人) ※	1,384	1,447	1,291		
	有所見者数(人) ※	843	868	821		
	有所見者割合(%) ※	60.9%	60.0%	63.6%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
男性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					
女性	対象者数(人) ※					
	有所見者数(人) ※					
	有所見者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

2. 質問別回答状況

平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,809	4,920	4,381		
	選択者数(人) ※	1,250	1,308	1,176		
	選択者割合(%) ※	26.0%	26.6%	26.8%		
男性	質問回答者数(人) ※	3,363	3,397	3,020		
	選択者数(人) ※	1,144	1,187	1,073		
	選択者割合(%) ※	34.0%	34.9%	35.5%		
女性	質問回答者数(人) ※	1,446	1,523	1,361		
	選択者数(人) ※	106	121	103		
	選択者割合(%) ※	7.3%	7.9%	7.6%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					
男性	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					
女性	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,809	4,916	4,376		
	選択者数(人) ※	3,975	4,051	3,592		
	選択者割合(%) ※	82.7%	82.4%	82.1%		
男性	質問回答者数(人) ※	3,363	3,395	3,016		
	選択者数(人) ※	2,860	2,879	2,552		
	選択者割合(%) ※	85.0%	84.8%	84.6%		
女性	質問回答者数(人) ※	1,446	1,521	1,360		
	選択者数(人) ※	1,115	1,172	1,040		
	選択者割合(%) ※	77.1%	77.1%	76.5%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					
男性	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					
女性	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,808	4,915	4,374		
	選択者数(人) ※	2,740	2,798	2,542		
	選択者割合(%) ※	57.0%	56.9%	58.1%		
男性	質問回答者数(人) ※	3,363	3,395	3,017		
	選択者数(人) ※	1,930	1,945	1,767		
	選択者割合(%) ※	57.4%	57.3%	58.6%		
女性	質問回答者数(人) ※	1,445	1,520	1,357		
	選択者数(人) ※	810	853	775		
	選択者割合(%) ※	56.1%	56.1%	57.1%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					
男性	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					
女性	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,807	4,915	4,374		
	選択者数(人) ※	1,053	999	931		
	選択者割合(%) ※	21.9%	20.3%	21.3%		
男性	質問回答者数(人) ※	3,362	3,393	3,015		
	選択者数(人) ※	897	865	787		
	選択者割合(%) ※	26.7%	25.5%	26.1%		
女性	質問回答者数(人) ※	1,445	1,522	1,359		
	選択者数(人) ※	156	134	144		
	選択者割合(%) ※	10.8%	8.8%	10.6%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					
男性	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					
女性	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36ヵ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,805	4,915	4,376		
	選択者数(人) ※	653	656	550		
	選択者割合(%) ※	13.6%	13.3%	12.6%		
男性	質問回答者数(人) ※	3,361	3,394	3,016		
	選択者数(人) ※	428	418	359		
	選択者割合(%) ※	12.7%	12.3%	11.9%		
女性	質問回答者数(人) ※	1,444	1,521	1,360		
	選択者数(人) ※	225	238	191		
	選択者割合(%) ※	15.6%	15.6%	14.0%		

		平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	平成34(2022)年度	平成35(2023)年度
男女合計	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					
男性	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					
女性	質問回答者数(人) ※					
	選択者数(人) ※					
	選択者割合(%) ※					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

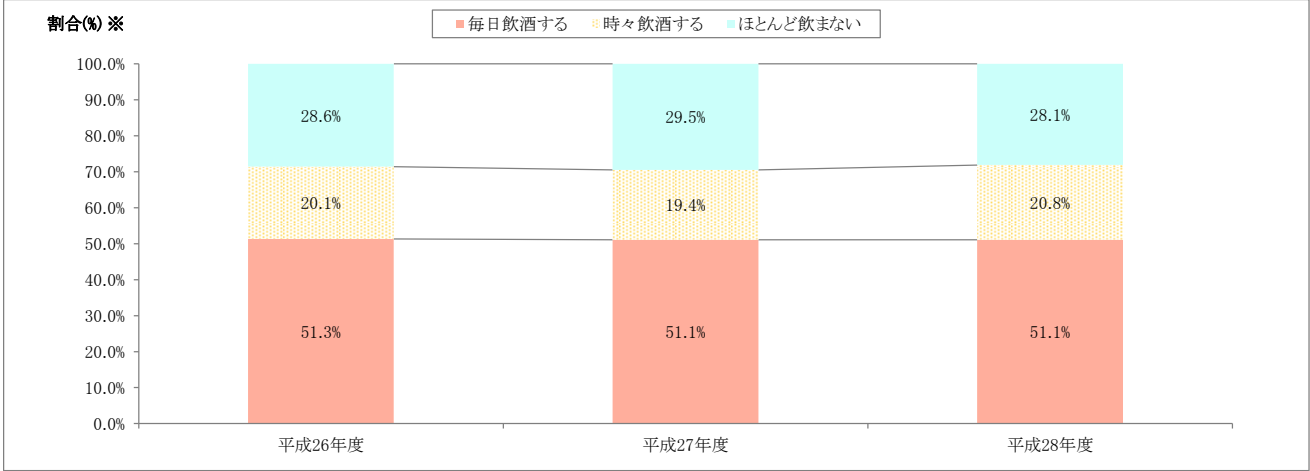
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,807	2,466	51.3%	968	20.1%	1,373	28.6%
平成27年度	4,911	2,509	51.1%	953	19.4%	1,449	29.5%
平成28年度	4,377	2,235	51.1%	911	20.8%	1,231	28.1%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

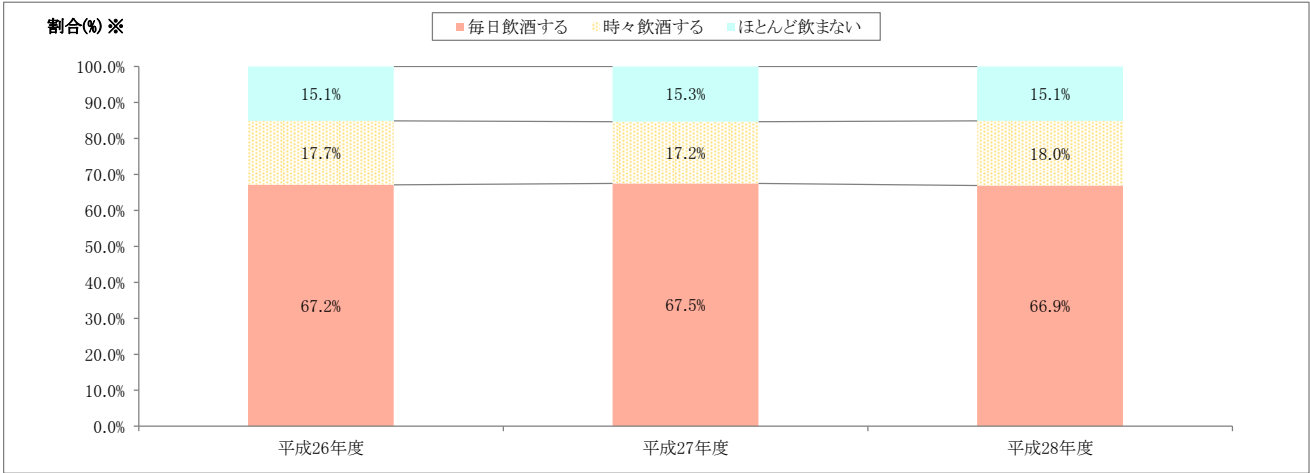


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月 健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。
※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。
飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,361	2,257	67.2%	595	17.7%	509	15.1%
平成27年度	3,391	2,288	67.5%	583	17.2%	520	15.3%
平成28年度	3,018	2,019	66.9%	542	18.0%	457	15.1%

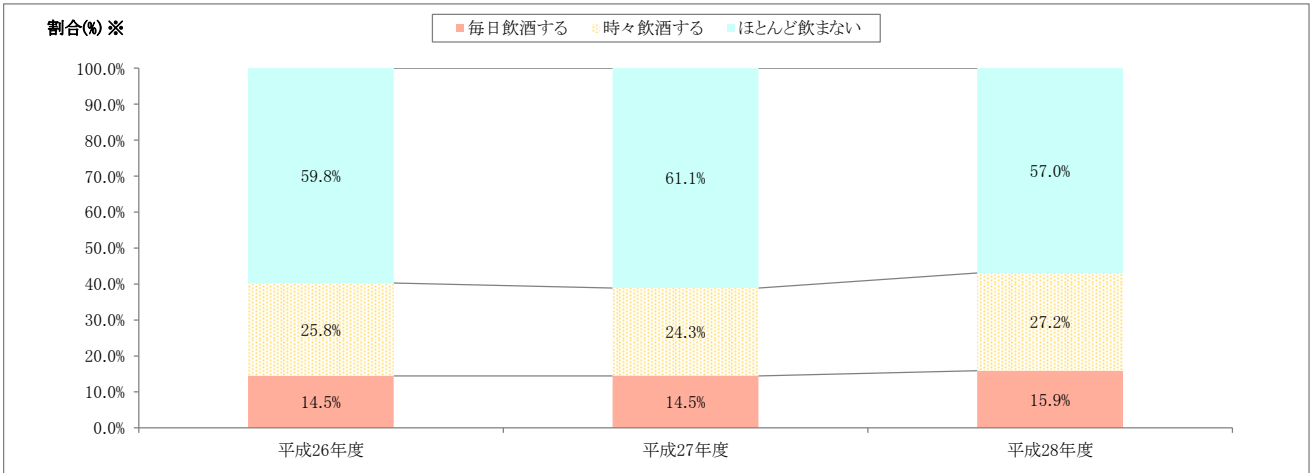
年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,446	209	14.5%	373	25.8%	864	59.8%
平成27年度	1,520	221	14.5%	370	24.3%	929	61.1%
平成28年度	1,359	216	15.9%	369	27.2%	774	57.0%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。
※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。
飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

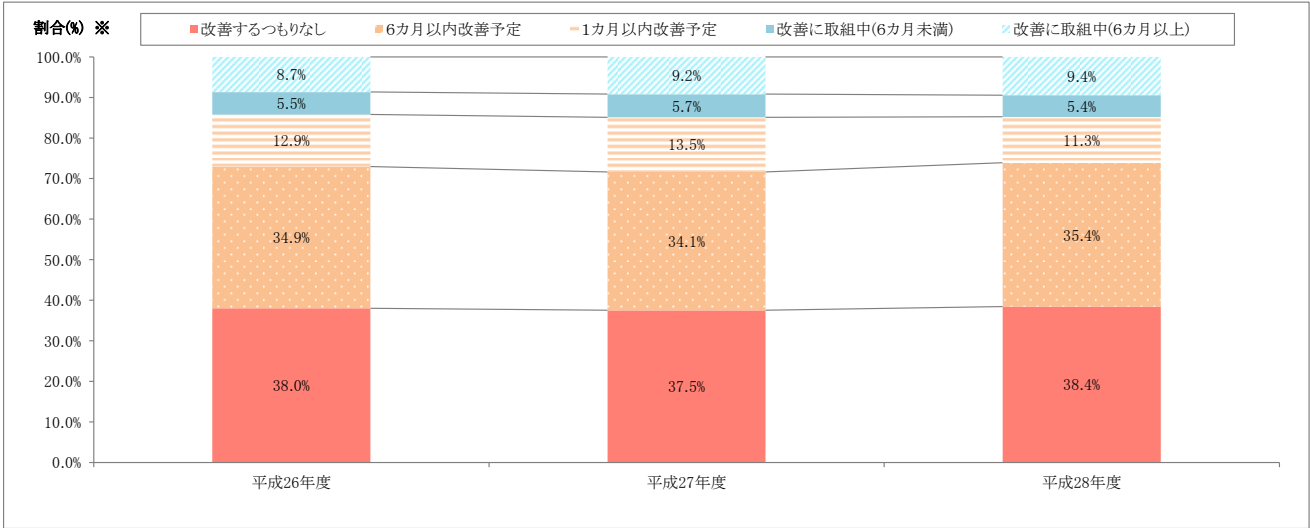
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,780	1,817	38.0%	1,669	34.9%	615	12.9%
平成27年度	4,888	1,834	37.5%	1,667	34.1%	659	13.5%
平成28年度	4,339	1,668	38.4%	1,538	35.4%	491	11.3%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,780	265	5.5%	414	8.7%
平成27年度	4,888	279	5.7%	449	9.2%
平成28年度	4,339	233	5.4%	409	9.4%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



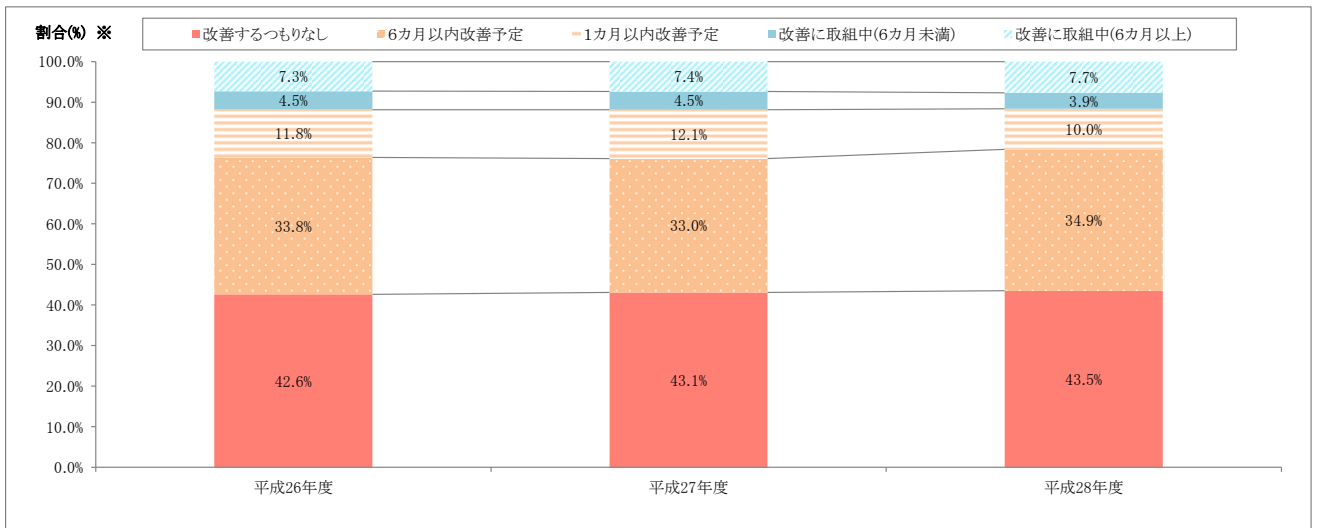
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。
※選択者数 …生活習慣の選択肢を選択した人数。
※割合 …生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,351	1,428	42.6%	1,131	33.8%	396	11.8%
平成27年度	3,381	1,456	43.1%	1,116	33.0%	408	12.1%
平成28年度	2,998	1,304	43.5%	1,045	34.9%	301	10.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,351	152	4.5%	244	7.3%
平成27年度	3,381	151	4.5%	250	7.4%
平成28年度	2,998	117	3.9%	231	7.7%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

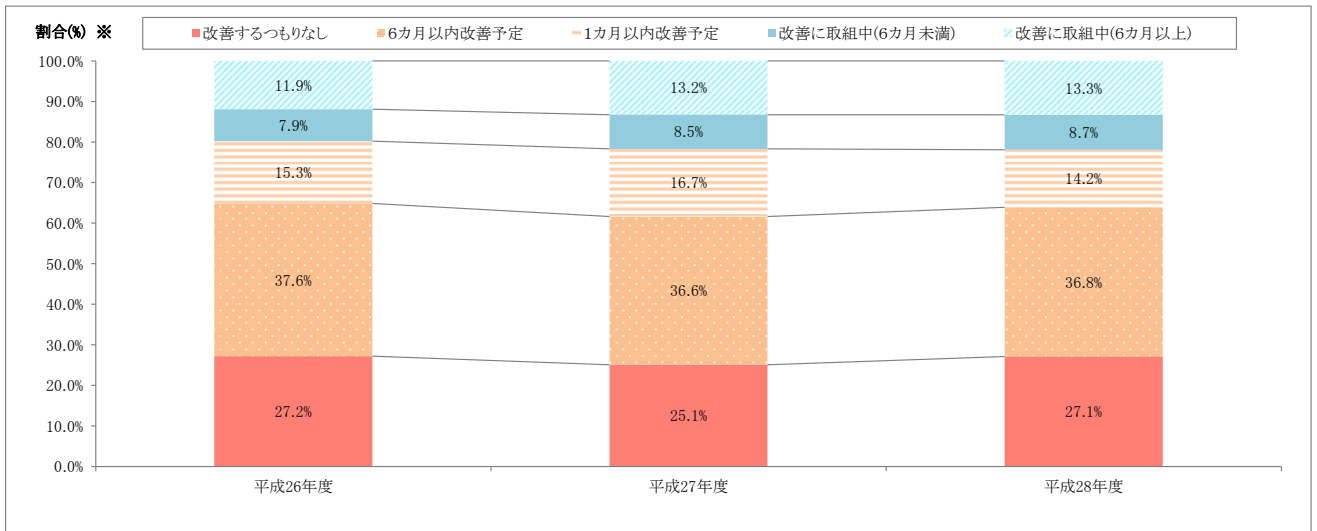
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,429	389	27.2%	538	37.6%	219	15.3%
平成27年度	1,507	378	25.1%	551	36.6%	251	16.7%
平成28年度	1,341	364	27.1%	493	36.8%	190	14.2%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,429	113	7.9%	170	11.9%
平成27年度	1,507	128	8.5%	199	13.2%
平成28年度	1,341	116	8.7%	178	13.3%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

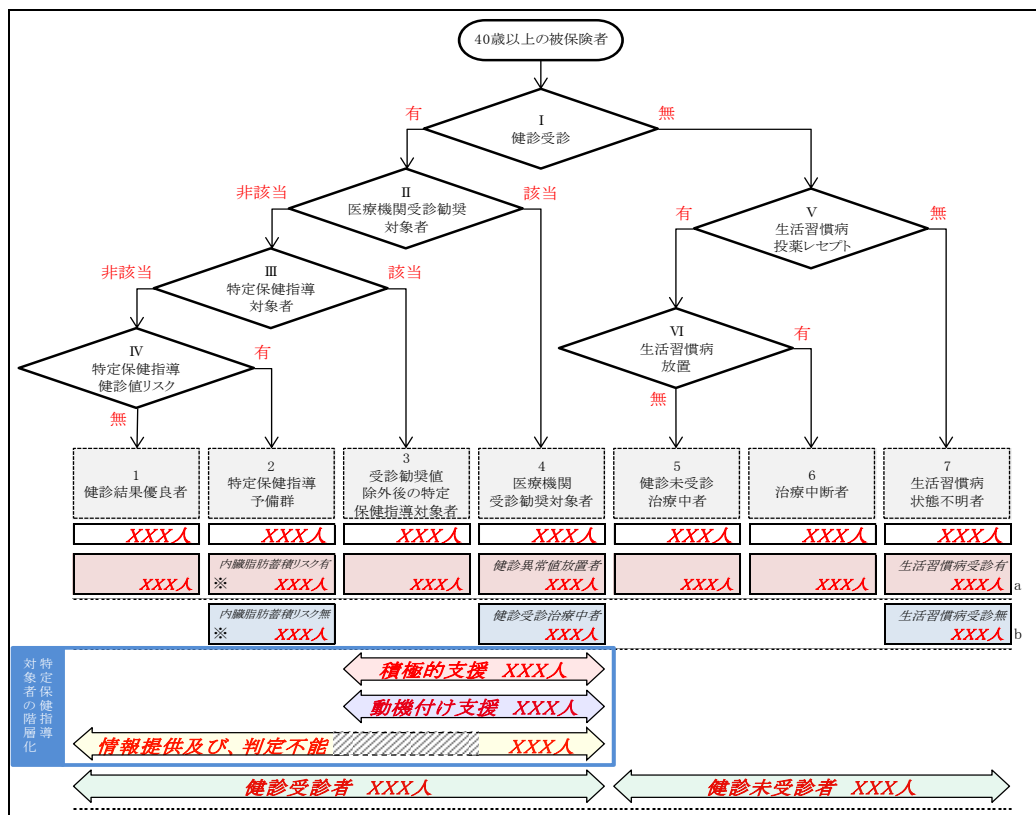
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

健診受診あり

- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
- 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 4. 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

健診受診なし

- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
- 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 7. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅰ．感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ．新生物＜腫瘍＞				
0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
Ⅲ．血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
Ⅳ．内分泌，栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
Ⅴ．精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害＜精神遅滞＞	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅵ. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
Ⅸ. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
Ⅹ. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎〔かぜ〕＜感冒＞	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I．消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II．皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III．筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害＜損傷＞	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV．腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V．妊娠，分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠，分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI．周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII．先天奇形，変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形，変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII．症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX．損傷，中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I．健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II．特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

4. 中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	3,224,401,820			207,307			16,674		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	87,670,619	2.7%		17,989	8.7%		5,117	30.7%		17,133	
0101 腸管感染症	16,822,517	0.5%	52	6,258	3.0%	30	2,373	14.2%	19	7,089	110
0102 結核	2,459,476	0.1%	100	336	0.2%	99	104	0.6%	94	23,649	61
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	1,170,705	0.0%	109	345	0.2%	98	177	1.1%	84	6,614	113
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	13,175,070	0.4%	63	3,132	1.5%	44	1,034	6.2%	33	12,742	86
0105 ウイルス性肝炎	23,314,432	0.7%	41	1,151	0.6%	73	301	1.8%	73	77,457	24
0106 その他のウイルス性疾患	3,804,645	0.1%	91	1,191	0.6%	72	495	3.0%	57	7,686	109
0107 真菌症	12,488,878	0.4%	66	3,157	1.5%	43	902	5.4%	39	13,846	80
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	57,304	0.0%	119	31	0.0%	116	6	0.0%	119	9,551	100
0109 その他の感染症及び寄生虫症	14,377,592	0.4%	59	4,102	2.0%	38	1,439	8.6%	27	9,991	97
II. 新生物<腫瘍>	502,074,493	15.6%		11,812	5.7%		3,457	20.7%		145,234	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	51,710,328	1.6%	16	1,921	0.9%	57	737	4.4%	45	70,163	27
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	29,377,078	0.9%	37	1,695	0.8%	62	732	4.4%	47	40,133	39
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	20,880,522	0.6%	46	399	0.2%	95	63	0.4%	102	331,437	7
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	11,592,784	0.4%	67	462	0.2%	92	163	1.0%	87	71,121	25
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	65,494,048	2.0%	11	1,020	0.5%	77	388	2.3%	64	168,799	14
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	39,576,644	1.2%	29	817	0.4%	82	184	1.1%	82	215,090	11
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	14,945,922	0.5%	58	410	0.2%	93	165	1.0%	86	90,581	20
0208 悪性リンパ腫	21,880,927	0.7%	43	316	0.2%	101	66	0.4%	101	331,529	6
0209 白血病	26,596,603	0.8%	39	155	0.1%	109	31	0.2%	112	857,955	2
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	166,317,501	5.2%	2	4,283	2.1%	37	1,227	7.4%	31	135,548	17
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	53,702,136	1.7%	14	3,264	1.6%	42	1,403	8.4%	29	38,277	41
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,789,644	0.6%		3,662	1.8%		1,022	6.1%		18,385	
0301 貧血	9,565,339	0.3%	74	2,709	1.3%	50	708	4.2%	49	13,510	82
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,224,305	0.3%	76	1,107	0.5%	74	378	2.3%	65	24,403	58
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	297,381,076	9.2%		51,965	25.1%		5,644	33.8%		52,690	
0401 甲状腺障害	15,201,139	0.5%	57	3,122	1.5%	46	758	4.5%	43	20,054	67
0402 糖尿病	144,215,054	4.5%	3	22,389	10.8%	4	3,146	18.9%	11	45,841	36
0403 脂質異常症	102,849,454	3.2%	7	32,533	15.7%	2	2,777	16.7%	15	37,036	43
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	35,115,429	1.1%	34	10,157	4.9%	19	1,807	10.8%	23	19,433	69
V. 精神及び行動の障害	133,889,993	4.2%		12,618	6.1%		1,288	7.7%		103,952	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	8,142,169	0.3%	80	35	0.0%	115	12	0.1%	117	678,514	4
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	2,213,455	0.1%	102	280	0.1%	102	60	0.4%	104	36,891	44
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	42,579,851	1.3%	25	2,313	1.1%	54	179	1.1%	83	237,876	9

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	3,224,401,820			207,307			16,674		

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	44,078,789	1.4%	24	6,043	2.9%	31	518	3.1%	55	85,094	22
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	14,119,008	0.4%	60	6,905	3.3%	27	781	4.7%	42	18,078	73
0506	知的障害<精神遅滞>	356,266	0.0%	116	72	0.0%	112	32	0.2%	111	11,133	93
0507	その他の精神及び行動の障害	22,400,455	0.7%	42	1,429	0.7%	66	198	1.2%	80	113,134	18
VI. 神経系の疾患		146,815,072	4.6%		21,178	10.2%		2,584	15.5%		56,817	
0601	パーキンソン病	7,815,040	0.2%	82	625	0.3%	89	51	0.3%	106	153,236	16
0602	アルツハイマー病	12,948,136	0.4%	64	476	0.2%	91	43	0.3%	108	301,119	8
0603	てんかん	21,776,212	0.7%	44	1,892	0.9%	58	223	1.3%	78	97,651	19
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	11,509,306	0.4%	68	201	0.1%	106	49	0.3%	107	234,884	10
0605	自律神経系の障害	898,187	0.0%	113	947	0.5%	78	107	0.6%	92	8,394	105
0606	その他の神経系の疾患	91,868,191	2.8%	8	18,550	8.9%	6	2,343	14.1%	20	39,210	40
VII. 眼及び付属器の疾患		128,518,007	4.0%		18,448	8.9%		5,245	31.5%		24,503	
0701	結膜炎	16,668,721	0.5%	53	8,671	4.2%	24	2,463	14.8%	17	6,768	112
0702	白内障	24,358,084	0.8%	40	6,304	3.0%	29	1,326	8.0%	30	18,370	72
0703	屈折及び調節の障害	18,393,778	0.6%	49	13,178	6.4%	13	3,775	22.6%	8	4,873	117
0704	その他の眼及び付属器の疾患	69,097,424	2.1%	10	11,518	5.6%	16	2,861	17.2%	13	24,151	60
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		24,029,649	0.7%		5,561	2.7%		1,624	9.7%		14,797	
0801	外耳炎	1,815,696	0.1%	107	1,079	0.5%	75	410	2.5%	63	4,429	120
0802	その他の外耳疾患	1,848,244	0.1%	106	882	0.4%	79	428	2.6%	62	4,318	121
0803	中耳炎	8,095,105	0.3%	81	2,126	1.0%	55	582	3.5%	54	13,909	79
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,869,160	0.1%	105	331	0.2%	100	95	0.6%	98	19,675	68
0805	メニエール病	2,652,802	0.1%	99	843	0.4%	80	144	0.9%	88	18,422	71
0806	その他の内耳疾患	2,431,071	0.1%	101	356	0.2%	97	100	0.6%	96	24,311	59
0807	その他の耳疾患	5,317,571	0.2%	88	1,357	0.7%	67	498	3.0%	56	10,678	96
IX. 循環器系の疾患		470,199,009	14.6%		59,254	28.6%		5,187	31.1%		90,650	
0901	高血圧性疾患	212,479,096	6.6%	1	51,708	24.9%	1	3,941	23.6%	6	53,915	32
0902	虚血性心疾患	40,903,919	1.3%	28	5,690	2.7%	32	723	4.3%	48	56,575	30
0903	その他の心疾患	116,892,937	3.6%	6	9,751	4.7%	20	1,456	8.7%	26	80,284	23
0904	くも膜下出血	9,552,434	0.3%	75	173	0.1%	107	54	0.3%	105	176,897	13
0905	脳内出血	16,957,715	0.5%	51	376	0.2%	96	102	0.6%	95	166,252	15
0906	脳梗塞	46,385,086	1.4%	22	5,453	2.6%	34	700	4.2%	50	66,264	28
0907	脳動脈硬化(症)	24,605	0.0%	120	28	0.0%	117	4	0.0%	121	6,151	114
0908	その他の脳血管疾患	6,562,555	0.2%	85	1,210	0.6%	69	298	1.8%	74	22,022	64
0909	動脈硬化(症)	6,309,691	0.2%	86	1,599	0.8%	63	360	2.2%	67	17,527	74
0911	低血圧(症)	489,397	0.0%	115	226	0.1%	105	38	0.2%	110	12,879	84
0912	その他の循環器系の疾患	13,641,574	0.4%	62	1,854	0.9%	59	463	2.8%	60	29,463	53
X. 呼吸器系の疾患		330,552,919	10.3%		54,712	26.4%		9,837	59.0%		33,603	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	3,603,468	0.1%	93	2,064	1.0%	56	796	4.8%	41	4,527	119
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	16,310,370	0.5%	55	7,922	3.8%	25	2,831	17.0%	14	5,761	115
1003	その他の急性上気道感染症	38,462,055	1.2%	32	16,284	7.9%	9	4,780	28.7%	1	8,046	106

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	3,224,401,820			207,307			16,674		

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	19,587,556	0.6%	48	1,829	0.9%	60	754	4.5%	44	25,978	56
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	42,130,193	1.3%	27	15,582	7.5%	10	4,240	25.4%	2	9,936	98
1006	アレルギー性鼻炎	50,693,511	1.6%	18	19,412	9.4%	5	4,229	25.4%	3	11,987	88
1007	慢性副鼻腔炎	12,713,608	0.4%	65	5,262	2.5%	35	1,152	6.9%	32	11,036	94
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	7,238,475	0.2%	84	2,839	1.4%	48	935	5.6%	37	7,742	108
1009	慢性閉塞性肺疾患	11,136,034	0.3%	70	2,812	1.4%	49	438	2.6%	61	25,425	57
1010	喘息	77,377,902	2.4%	9	14,835	7.2%	12	2,382	14.3%	18	32,484	50
1011	その他の呼吸器系の疾患	51,299,747	1.6%	17	10,826	5.2%	17	4,044	24.3%	5	12,685	87
X I . 消化器系の疾患		246,824,488	7.7%		44,337	21.4%		6,920	41.5%		35,668	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	22,046	0.0%	121	16	0.0%	120	4	0.0%	121	5,512	116
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	70,927	0.0%	118	23	0.0%	119	15	0.1%	115	4,728	118
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	38,533,462	1.2%	31	12,646	6.1%	14	1,866	11.2%	22	20,650	65
1105	胃炎及び十二指腸炎	36,548,639	1.1%	33	17,443	8.4%	7	3,757	22.5%	9	9,728	99
1106	痔核	3,214,746	0.1%	96	771	0.4%	83	239	1.4%	77	13,451	83
1107	アルコール性肝疾患	3,214,810	0.1%	95	838	0.4%	81	122	0.7%	90	26,351	54
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	1,153,906	0.0%	110	692	0.3%	86	108	0.6%	91	10,684	95
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	3,191,467	0.1%	97	560	0.3%	90	98	0.6%	97	32,566	49
1110	その他の肝疾患	7,682,166	0.2%	83	3,288	1.6%	41	989	5.9%	34	7,768	107
1111	胆石症及び胆のう炎	16,314,015	0.5%	54	1,205	0.6%	70	309	1.9%	72	52,796	33
1112	膵疾患	11,429,517	0.4%	69	628	0.3%	88	185	1.1%	81	61,781	29
1113	その他の消化器系の疾患	125,448,787	3.9%	4	22,907	11.0%	3	3,425	20.5%	10	36,627	45
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		93,001,146	2.9%		25,261	12.2%		5,425	32.5%		17,143	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	8,794,500	0.3%	78	2,460	1.2%	53	928	5.6%	38	9,477	101
1202	皮膚炎及び湿疹	45,163,452	1.4%	23	17,159	8.3%	8	3,826	22.9%	7	11,804	90
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	39,043,194	1.2%	30	12,040	5.8%	15	2,889	17.3%	12	13,514	81
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		307,730,130	9.5%		39,074	18.8%		5,667	34.0%		54,302	
1301	炎症性多発性関節障害	51,966,322	1.6%	15	6,739	3.3%	28	955	5.7%	36	54,415	31
1302	関節症	63,378,033	2.0%	12	10,290	5.0%	18	1,467	8.8%	25	43,202	37
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	47,532,152	1.5%	21	9,109	4.4%	23	1,432	8.6%	28	33,193	48
1304	椎間板障害	27,231,240	0.8%	38	4,031	1.9%	39	806	4.8%	40	33,786	46
1305	頸腕症候群	4,454,062	0.1%	89	3,126	1.5%	45	495	3.0%	57	8,998	102
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	18,153,397	0.6%	50	9,113	4.4%	22	1,569	9.4%	24	11,570	92
1307	その他の脊柱障害	10,266,184	0.3%	72	1,350	0.7%	68	334	2.0%	69	30,737	52
1308	肩の傷害<損傷>	10,204,074	0.3%	73	4,470	2.2%	36	733	4.4%	46	13,921	78
1309	骨の密度及び構造の障害	32,153,673	1.0%	35	5,633	2.7%	33	658	3.9%	52	48,866	34
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	42,390,993	1.3%	26	9,672	4.7%	21	2,228	13.4%	21	19,026	70

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	3,224,401,820			207,307			16,674		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	190,980,344	5.9%		11,140	5.4%		2,387	14.3%		80,009	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	13,697,934	0.4%	61	1,728	0.8%	61	365	2.2%	66	37,529	42
1402 腎不全	119,979,642	3.7%	5	1,591	0.8%	64	176	1.1%	85	681,703	3
1403 尿路結石症	5,617,022	0.2%	87	655	0.3%	87	214	1.3%	79	26,248	55
1404 その他の腎尿路系の疾患	19,982,671	0.6%	47	3,935	1.9%	40	982	5.9%	35	20,349	66
1405 前立腺肥大(症)	16,090,333	0.5%	56	2,556	1.2%	51	333	2.0%	70	48,319	35
1406 その他の男性生殖器の疾患	900,331	0.0%	112	229	0.1%	104	105	0.6%	93	8,575	104
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	3,930,953	0.1%	90	1,050	0.5%	76	250	1.5%	76	15,724	77
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	10,781,458	0.3%	71	1,475	0.7%	65	646	3.9%	53	16,690	76
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	32,518,846	1.0%		451	0.2%		155	0.9%		209,799	
1501 流産	817,649	0.0%	114	47	0.0%	114	26	0.2%	113	31,448	51
1502 妊娠高血圧症候群	2,166,276	0.1%	104	14	0.0%	121	6	0.0%	119	361,046	5
1503 単胎自然分娩	90	0.0%	123	1	0.0%	123	1	0.0%	123	90	123
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	29,534,831	0.9%	36	410	0.2%	93	143	0.9%	89	206,537	12
XVI. 周産期に発生した病態	24,873,937	0.8%		135	0.1%		62	0.4%		401,193	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	21,122,412	0.7%	45	60	0.0%	113	24	0.1%	114	880,101	1
1602 その他の周産期に発生した病態	3,751,525	0.1%	92	82	0.0%	111	43	0.3%	108	87,245	21
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	10,583,735	0.3%		900	0.4%		320	1.9%		33,074	
1701 心臓の先天奇形	1,465,072	0.0%	108	168	0.1%	108	62	0.4%	103	23,630	62
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	9,118,663	0.3%	77	752	0.4%	84	273	1.6%	75	33,402	47
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	48,783,054	1.5%		15,536	7.5%		4,179	25.1%		11,673	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	48,783,054	1.5%	20	15,536	7.5%	11	4,179	25.1%	4	11,673	91
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	118,444,680	3.7%		9,982	4.8%		3,378	20.3%		35,064	
1901 骨折	48,894,562	1.5%	19	2,522	1.2%	52	694	4.2%	51	70,453	26
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	3,529,188	0.1%	94	151	0.1%	110	85	0.5%	100	41,520	38
1903 熱傷及び腐食	1,123,275	0.0%	111	232	0.1%	103	95	0.6%	98	11,824	89
1904 中毒	3,117,491	0.1%	98	721	0.3%	85	349	2.1%	68	8,933	103
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	61,780,164	1.9%	13	7,104	3.4%	26	2,668	16.0%	16	23,156	63
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,544,245	0.3%		2,932	1.4%		503	3.0%		16,987	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	167,296	0.0%	117	27	0.0%	118	13	0.1%	116	12,869	85
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	15,541	0.0%	122	11	0.0%	122	10	0.1%	118	1,554	122
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,224,401,820	207,307	16,674

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	8,361,408	0.3%	79	2,894	1.4%	47	481	2.9%	59	17,383	75
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		2,196,734	0.1%		1,196	0.6%		315	1.9%		6,974	
9999	分類外	2,196,734	0.1%	103	1,196	0.6%	71	315	1.9%	71	6,974	111

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。